

## Ⅱ 黒髪北地区の調査

## 1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査（9407調査地点）

### （1）調査の目的と経過

#### a. 調査地と調査経緯

当調査地区は熊本大学黒髪キャンパス北地区の北東隅に位置する。木造の学生集会場が1軒あるのみで、残りの場所は空地となっていた。今回の調査は福利施設の新営工事に伴う調査であり、調査の総面積は1290㎡である。試掘の結果、遺物包含層の保存状態が比較的良好であったので、包含層上面まで重機による除去を行い、その後手作業による調査を行った。廃土置場の確保と調査の混乱を避けるため、調査区を4分割して順次調査を行う方針を立てた。調査区は北東部1/4をI区とし、その西側である北西部をII区、東南部をIII区、西南部をIV区とした。また建物の建築工事に伴う電気配線工事や給排水配管工事に先立ち、平成7年1月17日から21日まで本調査区の周辺で立会調査を行った。掘削深度が浅いため包含層および遺構には影響が認められなかった。

#### b. 調査の経過

- 5月13日 樹木移植開始。
- 5月18～20日 重機による表土剥ぎ開始。調査区全面においてI層を除去。
- 5月23日 作業員投入。調査区を4区に分け、I区より2層の掘り下げ開始。
- 5月26日 雨のため作業中止。
- 5月30日 I区において住居址確認。住居址の検出作業開始。
- 6月1日 II区において2層の掘り下げ開始。須恵器・土師器片多数出土。
- 6月8～13日 雨で作業難行。
- 6月20日 トレンチにより、I区南半部には遺構の存在しないことを確認。
- 6月23日 雨天のため作業昼まで。
- 6月27日 II区において住居確認。トレンチによって他の遺構の有無を確認。
- 6月28日 住居址の検出作業開始。
- 7月6日 実測作業開始。
- 7月7日 I区において建物跡を確認。
- 7月10日 I区調査終了。
- 7月11・12日 III・IV区において3層除去。4層上面において遺構確認。排土をI区に移動。
- 7月13日 III・IV区調査開始。
- 7月14日 III区において住居址確認。
- 7月20日 II区において3層の除去完了。III、IV区遺構検出作業開始。実測作業開始。
- 7月22日 実測の完了をもってIV区調査終了。
- 7月25日 実測の完了をもってIII区調査終了
- 7月28日 II区における実測作業を完了し、全調査終了。

#### c. 調査の組織

調査員：原田範昭（現熊本市文化課）

事務担当：矢野希久代

発掘作業員：相川奈美・飯田孝俊・稲田和加・今村佳子・岩谷史記・内菌拓也・大塚宏之・大坪志子・岡部是央・岡本久美子・甲斐美紀代・甲斐田末男・川野博之・清田志野・蔵富士寛・古賀敬子・後藤郁子・小深田ナオ・佐藤タエ子・

1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

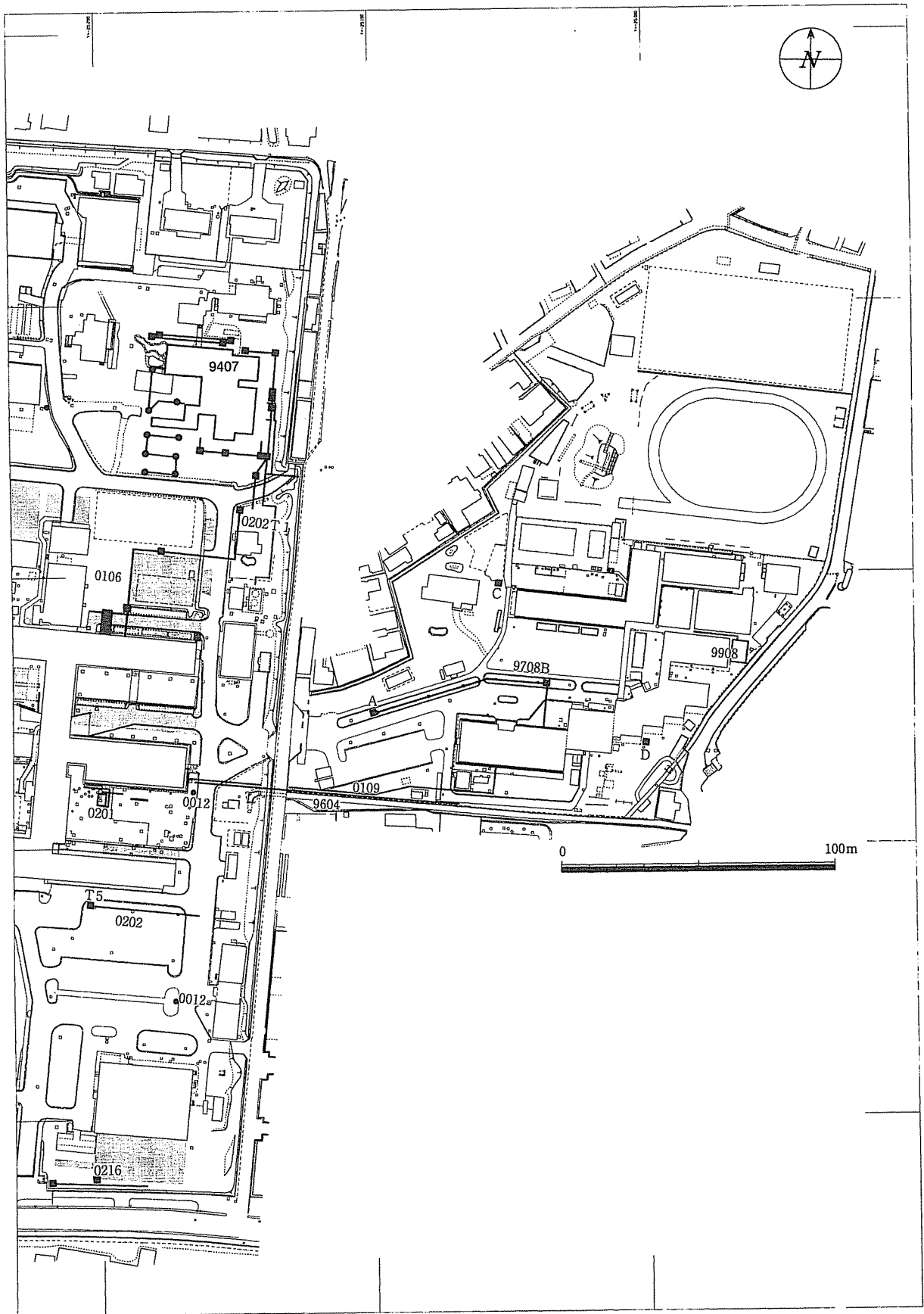


図2 黒髪北地区東半における既往調査地点と9407調査地点の位置図 (1/2000)

澤田まり子・柴田やよひ・高崎芳美・高松幸一・田崎末人・田中末光・田中聡一・  
 田中大介・田中レイ・土田ちえみ・中嶋由起子・中村さつき・中村哲史・  
 橋本みどり・花田誉宣・林田恵子・春木藤美・番山明子・東真一・藤田實千代・  
 藤岡泰江・古屋俊英・本田晶子・本田浩二郎・槇林啓介・益永武史・松井昭子・  
 松浦一之介・松里健一・丸岡恵子・美浦雄二・村山志穂・山口健剛・山下直哉・  
 吉岡和哉・若杉あずさ・若杉竜太

整理作業員：甲斐美紀代・古賀敬子・柴田やよひ・田中レイ・土田ちえみ・橋本みどり・  
 林田恵子・春木藤美・藤岡泰江・松井昭子

(2) 調査区の基本層序 (図3)

今回の調査区内における基本層序は、以下のとおりである。

- 1層：褐色土層 (10YR4/6) 表土層である。レンガや礫を多く含み、大部分に攪乱を受けている。粘性が全くなく、しまりがない。厚さ100~120cm。
- 2層：黒褐色土層 (10YR2/3) 遺物包含層である。粘性がなく軟質である。きめが細かく、焼土粒などを多く含む。中位から下位にかけて須恵器片・土師器片を特に多く含む。厚さ30cm。
- 3層：暗褐色土層 (10YR3/3) 無遺物層である。やや粘性があり、軟質で粒子は細かい。混入物は特にないが、押型文土器の入る可能性が指摘されている。厚さ30~40cm。
- 4層：暗褐色土層 (10YR5/4) 無遺物層である。粘性で粒子が細かく、しまっている。ニガ土と呼ばれる。厚さ20cm。
- 5層：オリーブ褐色土層 (2.5Y5/8) 無遺物層である。粘性が強く、特に硬質である。ニガ土と呼ばれる。厚さ20~30cm。
- 6層：黄褐色土層 (10YR5/8) 無遺物層である。特に粘性が強く、しまっている粘土層である。ローム層である。厚さ40cm。

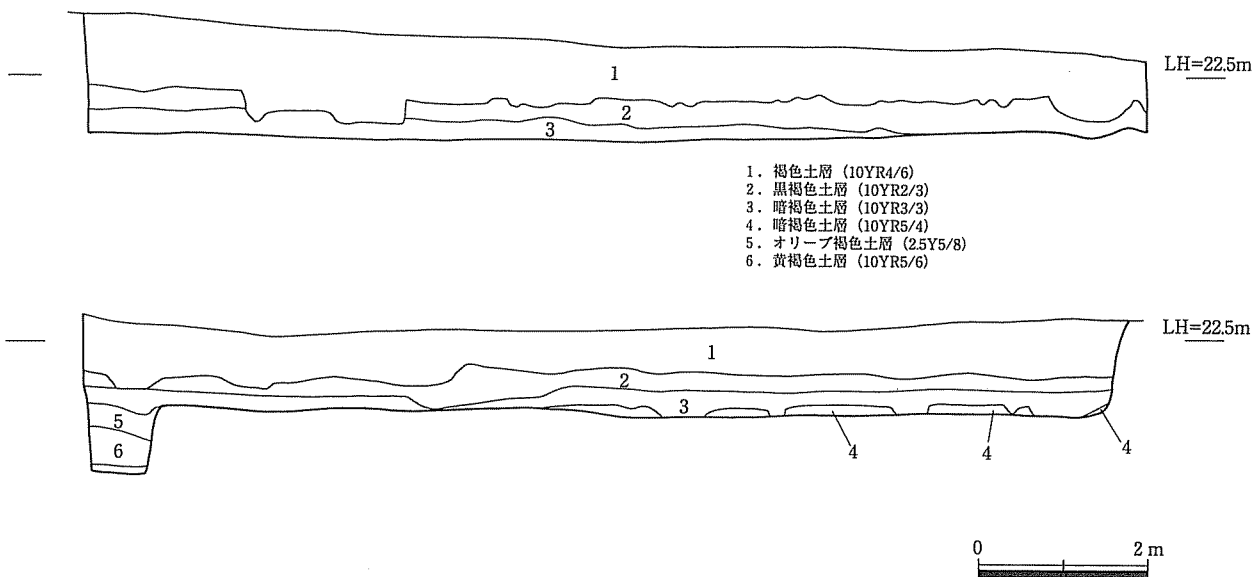


図3 9407調査地点東壁土層断面図 (1/90)

### (3) 検出遺構

今回の調査では竪穴住居址9基、掘立柱建物址2基、土坑3基、柱穴130個、土器集中区などの遺構を検出した(図4)。竪穴住居址は重複しているものが多く、かなりの改築を繰り返し行ったようである。竪穴住居址内の覆土は、いずれも遺物包含層と同質の土に灰や焼土が混入するものであり、分層はできない。いずれも壁体がもろく、プランの確認が困難であった。

#### <竪穴住居址>

##### 1号竪穴住居址(図5・図版2-9・10)

I区中央北端に位置する。西側は攪乱により破壊されている。平面形は一辺4.3mの方形プランを想定している。主軸はN-10°-Eである。柱穴は確認できなかった。北壁中央部分から床面にかけて、焼土が集中する地点がある。竈跡と思われる。破壊を受け、構造は明らかではない。焼土下において直径70cm、深さ40cm、直径60cm、深さ20cmの竈に伴うピット2個、直径65cm、深さ60cmの竈を切るピット1個を検出した。

##### 2号竪穴住居址(図5・図版2-11~13)

II区北西部に位置する。樹木移植による破壊を受け、詳細は不明である。一辺3.5mを確認した。主軸はN-45°-Wである。住居北壁中央部に竈をもつ。竈は破壊を受けており、焼土・粘土・灰が混在し、構造については明らかではない。焼土上から座った形で土師器の坏を検出した。

##### 3号竪穴住居址(図6・図版3-14~16)

II区中央北側に住居址6軒(3~8号)が切り合う。3号住居址はこの住居群において、最も新しく構築されたものである。2.3×2.3mの隅丸の正方形プランである。主軸はN-10°-Wである。切り合いにより北側および東側の壁が明確な形で検出できなかった。残存する壁高は20cmである。直径22cm、深さ22cmの柱穴を住居中央に1個検出した。竈は北壁中央および床面を掘り窪め、粘土を貼り付けて形成されている。幅65cm、全長85cmの規模をもつ。

##### 4号竪穴住居址(図6・図版3-17・18)

東南の一部が2号住居址によって切られている。2.5×2.3mの隅丸方形プランを呈する。主軸はW-10°-Sである。残存する壁高は20cmである。竈は、西壁の中央を掘りくぼめ、粘土を貼り付けて形成されている。幅50cm、全長70cmである。壁面より住居内に粘土で作られた竈袖部が張り出している。柱穴は確認できなかった。

##### 5号竪穴住居址(図6・図版4-19・20)

三方の壁が2号住居址によって切られている。一辺1.9mの北壁のみが残存していた。隅丸方形の平面プランをもつであろう。主軸はW-15°-Sである。残存する壁高は25cmである。竈は西壁中央に付設される。竈の平面形は袋状を呈し、粘土を用いて構築されている。焚口幅30cm、最大幅40cm、奥行き50cmを呈する。

##### 6号竪穴住居址(図6・図版4-21・22)

南半は2号及び3号住居址によって切られており、東半は調査区外にあるため平面プランは確認できない。他の住居の状況からみて、隅丸方形の平面プランが想定できる。主軸は4号住居址に平行すると考えられる。残存する壁高は竈周辺で20cm程度である。竈は西壁に形成される。竈壁体から竈脇の住居壁面20cm程度にかけて粘土が貼り付けられている。したがって粘土の貼り付けられた住居壁面の一部が、竈の袖部を兼用する形となる。焚口幅は40cm、奥行き50cmを呈する。

##### 7号竪穴住居址(図6・図版4-23・24)

住居壁体および床面は検出できず、竈のみを確認した。他の住居址との位置的關係からみて、おそ

らく一辺 2 m 前後の方形の住居址と考えている。竈は西向きに開口することより、住居址の東壁に存在する可能性が高い。6号住居址と同様、袖部を住居壁体と兼用し、竈内から住居壁面にかけて粘土を貼り付けて形成されている。粘土は厚さ10cm程度で貼り付けられている。焚口幅30cm、奥行き45cmである。

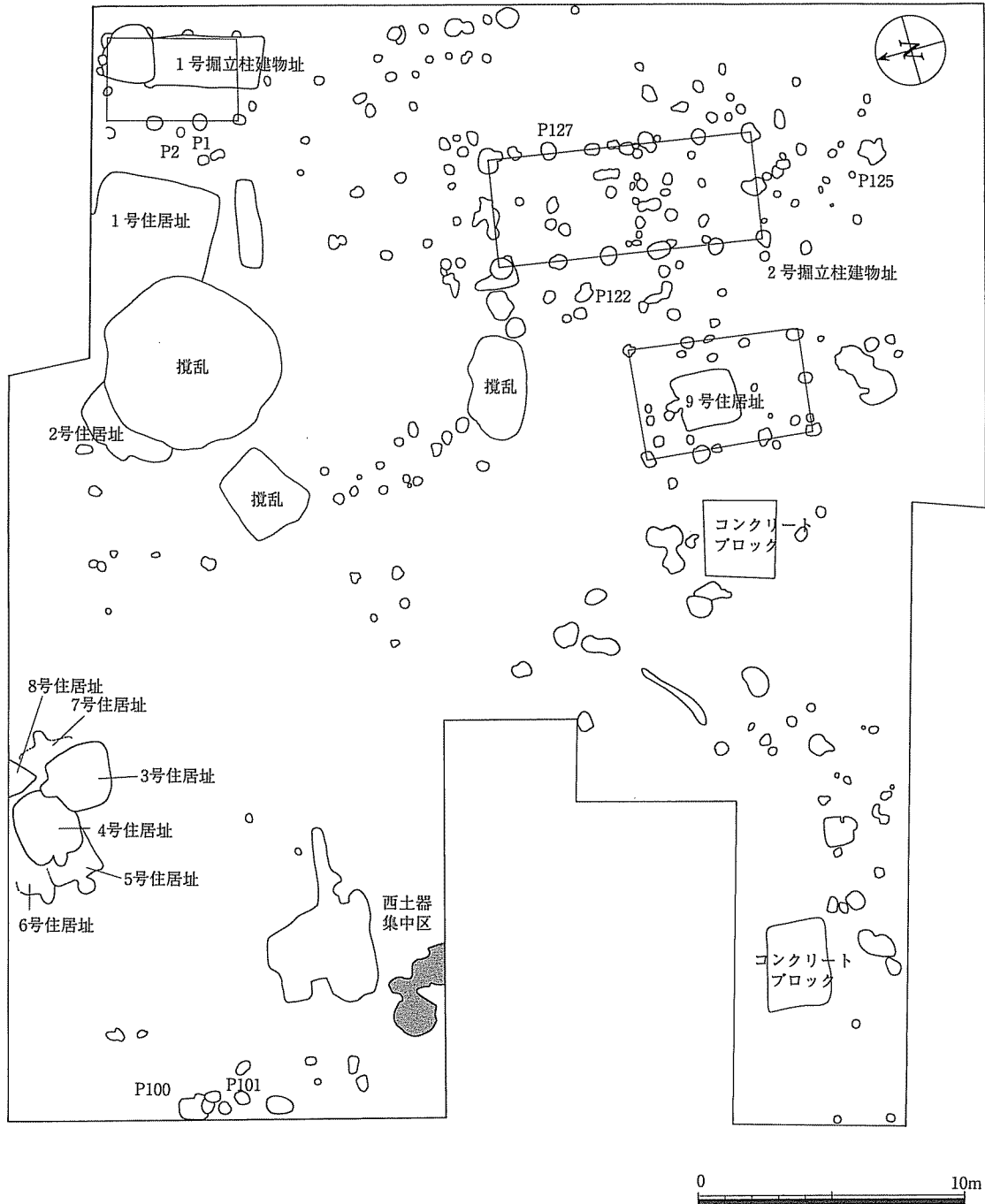


図4 9407調査地点遺構配置図 (1/250)

1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

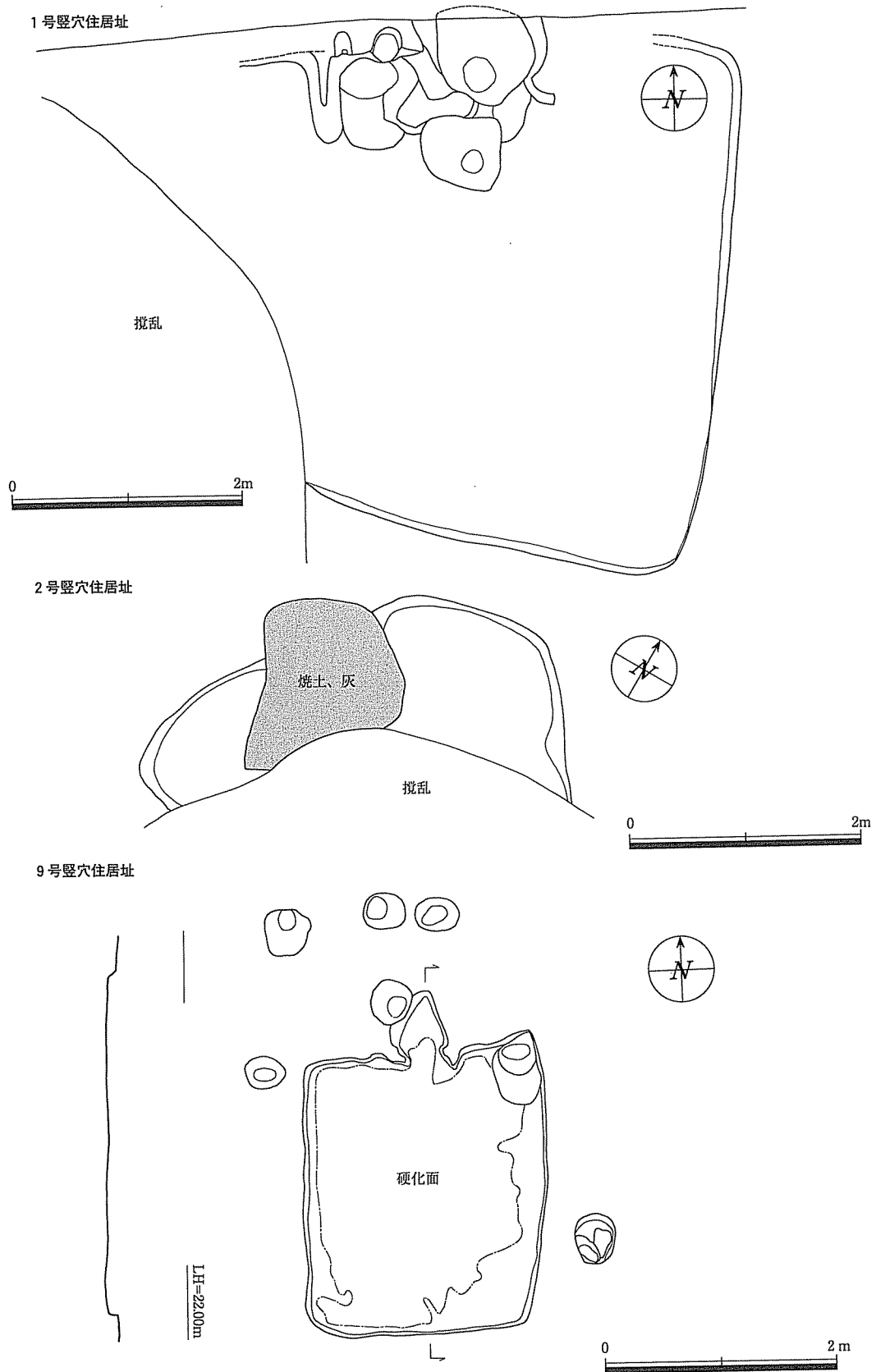


図5 1・2・9号竪穴住居址実測図 (1/50)

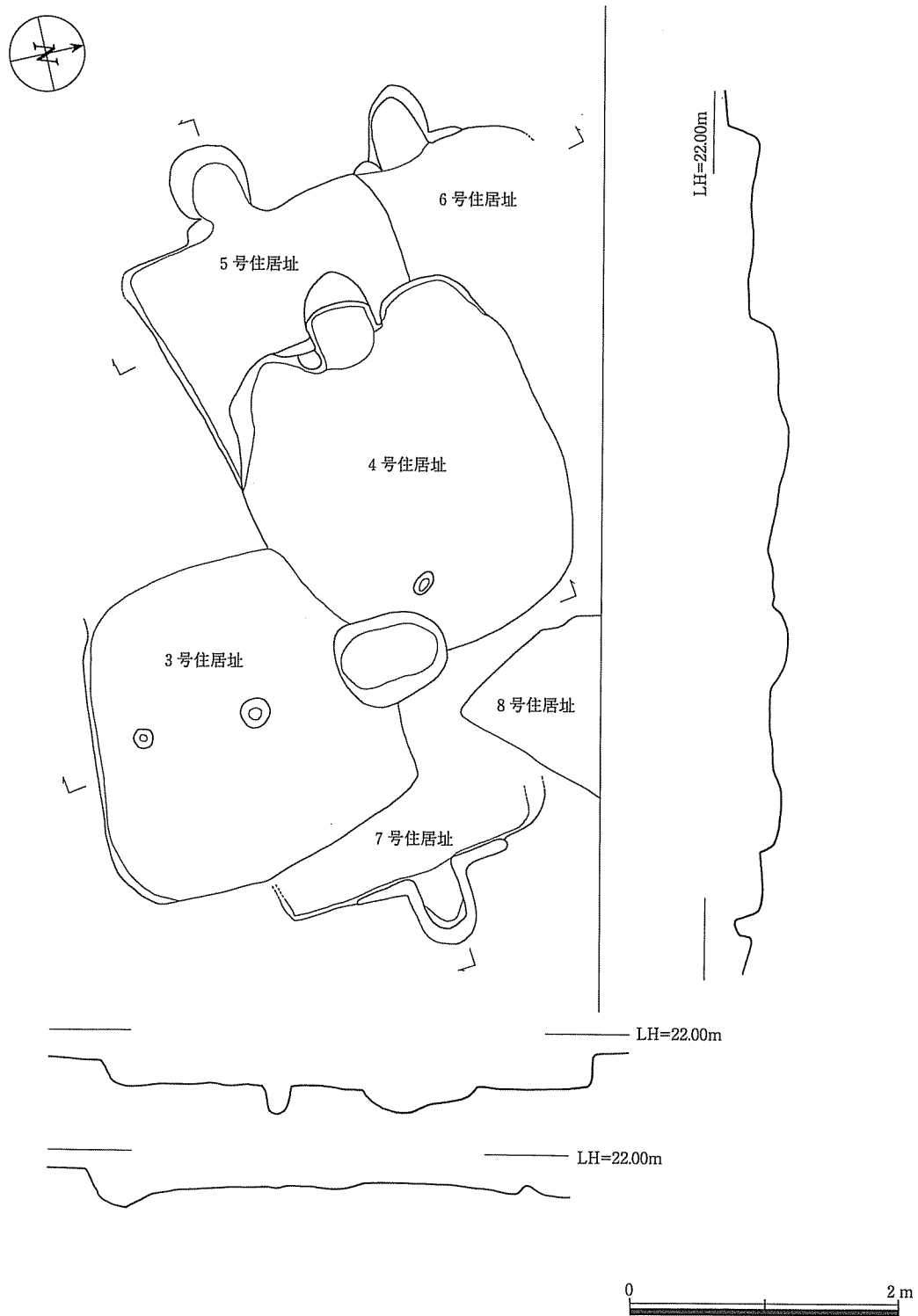


図6 3～8号竪穴住居址実測図(1/50)



1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

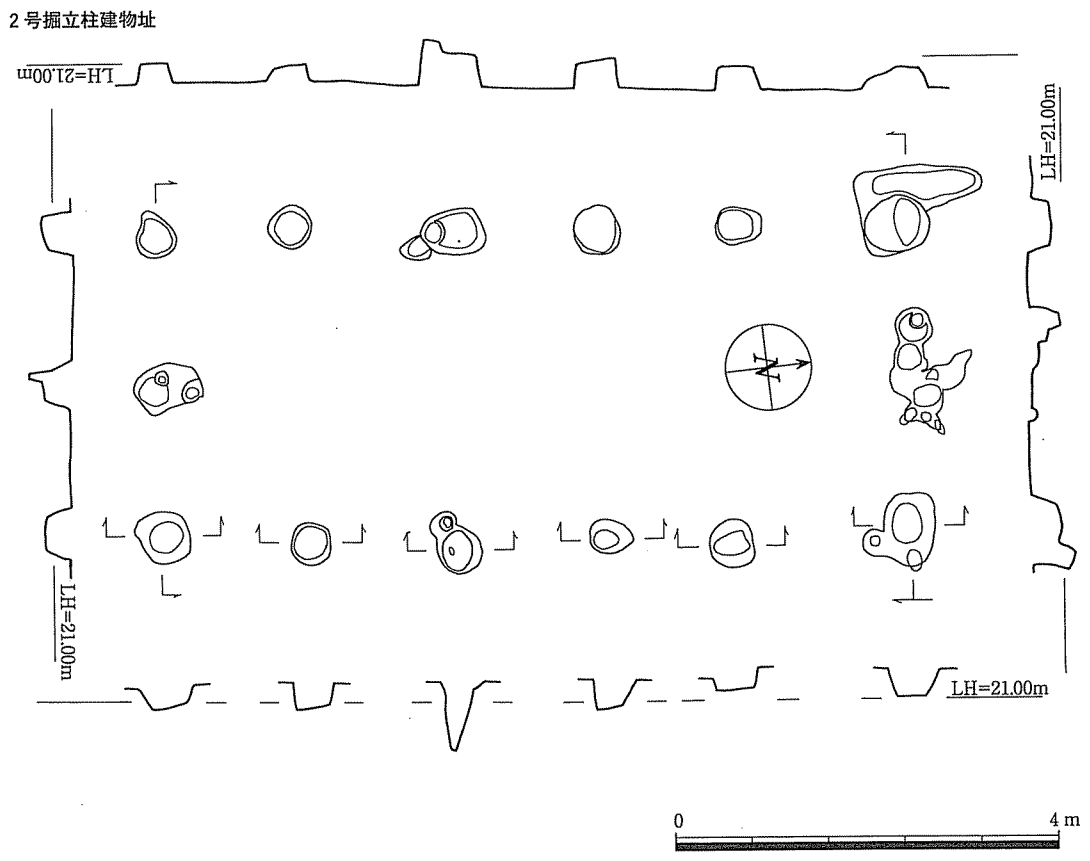
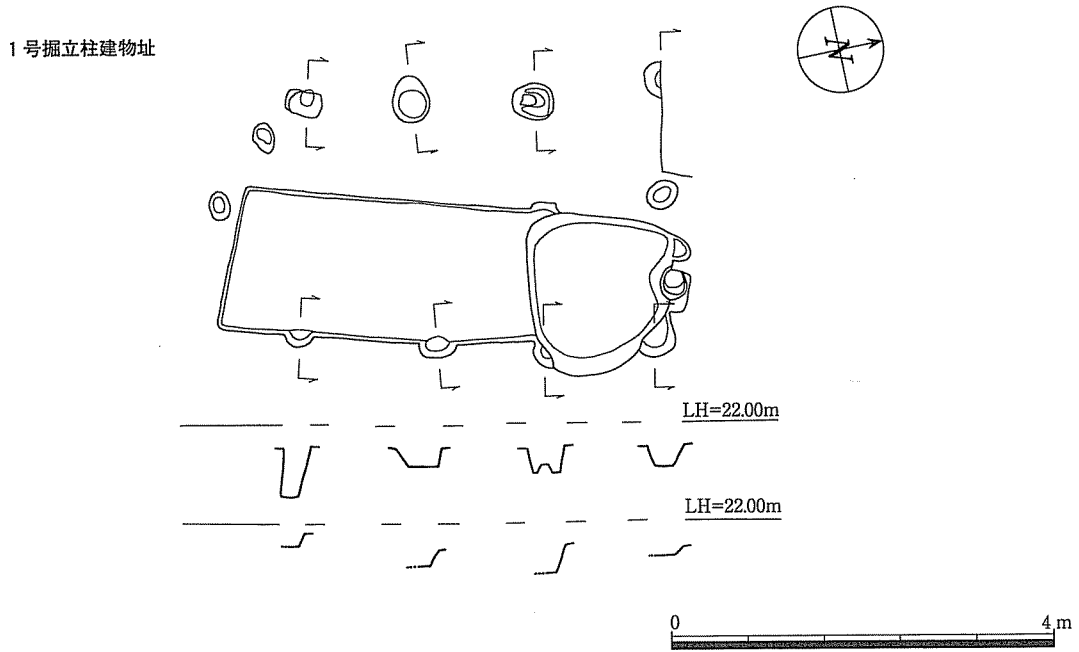


図7 1・2号掘立柱建物址実測図 (1/100)

**8号竪穴住居址（図6・図版4-25）**

住居床面の一部のみの確認となった。大部分が調査区外にあり、東西1.2m・南北1.2mの範囲で住居南西隅の床面のみが露呈する。

**9号竪穴住居址（図5・図版4-26）**

2.3×2.0mの長方形プランを呈し、主軸は南北に沿う。床面には東南側を除いてほぼ全面に硬化面が広がっていた。残存部の壁高は10cmである。住居内北東隅で長軸55cm、短軸45cmの楕円形のピットを検出したが、ピットの性格は不明である。竈は北壁の中央に存在する。袋状の三角形を呈し、焚口幅30cm、奥行き60cmである。一部がピットによって切られている。

**<掘立柱建物址>****1号掘立柱建物址（図7・図版5-27）**

調査区北東隅において柱穴8個が並ぶ。棟方向に大きく攪乱が入っているため、柱穴列1列の約半分は破壊されていた。棟方向は桁行3間、梁行1間の建物を想定している。梁間に攪乱部分がおよぶため明らかではないが、梁行2間の可能性もある。柱穴の直径はすべて50cm前後であり、確認できた深さは20～65cmである。本来もっと上位から掘り込まれていたものと考えられる。桁柱間は1.5～1.8m、桁長は4.8mである。梁長は3.0～3.4mであり、北に向かって若干幅広になる。また調査区外に柱穴列が続く可能性もある。

**2号掘立柱建物址（図7・図版5-28）**

調査区南東部分において柱穴12個が並ぶ。棟方向はN-6°-Eである。桁行5間、梁行1間または2間の建物を想定している。柱穴はすべて比較的円形に近く、直径は70cm前後である。確認できた深さは0.2～1.0cmと統一性を欠く。桁柱間は1.8～2.3mであり、桁長は9.8mである。梁長は4mである。

**II区西遺物集中区**

II区南部壁にかかるように検出した遺物が比較的集中して出土したもので、西集中区と銘々した。土師器・須恵器・瓦など約200点が出土した。遺物の分布状況は平面的であり、掘り込みの痕跡なども認められなかった。

**(4) 出土遺物（図8～15・図版6～10）**

出土遺物はパンケース50箱以上に及ぶが、遺構出土の遺物が少ないため、包含層出土遺物を加えおよそ250点を図示した。出土遺物の種類は、古代の土師器・須恵器・磁器（越州窯青磁）の各種容器の他に、布目瓦、土馬、紡錘車、土製円盤、石槌、砥石、刀子や鎌などの鉄器がある。容器の中には墨書土器やヘラ書き土器も含まれていた。また、少量ではあるが、深鉢形土器や石鏃などの縄文時代の遺物も出土している。

**1号竪穴住居址出土遺物**

1・2は須恵器碗である。3・4は須恵器坏である。4は底部に「×」字のヘラ書きがある。5は土師器のヘラミガキの碗である。6は土師器鉢である。7・8は土師器坏、9は皿である。6～8は竈より出土しており、本住居の時期を示す。ほぼ8世紀末～9世紀初のものと思われる。

**2号竪穴住居址出土遺物**

10～12は須恵器の坏である。10の底面には墨書にて蕨状の文字がかかっている。13は須恵器の大型壺の盤状口縁である。

**3号竪穴住居址出土遺物**

## 1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

14・15はいずれも土師器の坏である。15は灯明皿として使用されている。14は竈より出土した。

### ピット出土遺物

16～22はピットから出土した遺物である。16は須恵器の碗の破片である。17は回転ヘラミガキを施す土師器坏であるが、底部に墨書が認められる。鮮明でないが、後述する他の墨書から類推すると「衆」の字の可能性もある。18～20は土師器坏である。19は1号掘立柱建物の柱穴の一つである1号ピットから出土した。また10も2号掘立柱建物の柱穴の一つである127号ピットから出土したものである。いずれも8世紀中葉～後半の資料であり、竪穴住居址とほぼ変わらない時期の所産である。21は須恵器の有耳壺の破片である。22は土師器甕の口縁部である。

### Ⅱ区西側遺物集中区出土遺物

本集中区からは時期の異なる多量の遺物が出土した。ここに図示したものはその一部である。

23～39は須恵器である。23～33は碗、34～37は坏である。38は壺の口縁部、39は甕の底部であろう。土師器には碗(40～60・251・252)、坏(61～71)、甕(72・74・75)、鉢(73)、把手付甕(76)などがある。251・252はいずれも丹塗りの碗であり、外面に「東カ」と「衆」の墨書がある。77から80は布目瓦の平瓦片である。81は砥石、82は両端および側面に潰れた痕跡のある石杵である。

土師器や須恵器の坏や碗をみると、8世紀後半代～9世紀前半を中心としているものの、10世紀中頃までのものが含まれている。45の碗は墨書が書かれた251・253と同じ丹塗りの碗で、9世紀中頃の様相を示している。これらに加えて、10世紀前半代の様相を示す57～60などの碗も含まれる。このような時期幅をもつ本集中区がいかなる作用によって形成されたのかは不明である。

### 包含層・その他出土遺物

83～85はⅢ区で認められた焼土から出土したもので、83・84は土師器の坏、85は赤焼きの須恵器の甕である。いずれも大型の破片であり、このⅢ区は重機によって掘削して遺構面を検出していることから、この焼土は削平された竪穴住居址の竈などの残りであった可能性もある。91も同様の性格をもつと思われる焼土3から出土した土師器鉢の口縁部片である。86～90はⅡ区のほぼ中央部に設定したトレンチからまとめて出土したもので、86は土師器碗、87は丹塗りの土師器坏、88は須恵器坏、89・90は須恵器の甕の底部である。

図11～図15は2層を中心とした包含層出土品である。図11・12には須恵器、図13・14には土師器、図14には土製品・石製品、縄文時代遺物、図15には墨書・ヘラ書き土器、鉄器を掲載した。

92は高台付皿、93～111は須恵器碗、112～127は須恵器坏・皿、128～130は碗である。130は蓋の可能性もある。110の碗の外面には「北カ」の墨書がある。131～146は須恵器蓋である。147は須恵器小壺、148・149は須恵器高坏の脚部、151はラッパ状を呈する口縁部をもつ須恵器の大型壺の口縁部片、152は有耳壺の胴部片である。153～162は須恵器の甕の口縁部片である。163は肩の張る須恵器壺の肩部の破片であり、外面には厚い自然釉が付着している。164は須恵器長頸壺の胴部～底部片、165・166は須恵器の底部片である。167は盤状の口縁をもつ須恵器の壺であり、168は大甕の口縁部片である。

169～180は土師器碗、181～204は坏・皿である。190の小型皿は灯明皿として使用されている。202から204は糸切り+板目圧痕の底部をもち12世紀後半まで下る資料である。205～207は黒色土器A(内黒)の碗、213は同じ内黒の坏の破片である。214は土師器の小型壺で、215は丹塗りの高坏片である。216～223は土師器甕である。

208から212は越州窯青磁の碗の破片である。蛇目高台をもち、208～211が全釉であり、212は高台を残して施釉されている。

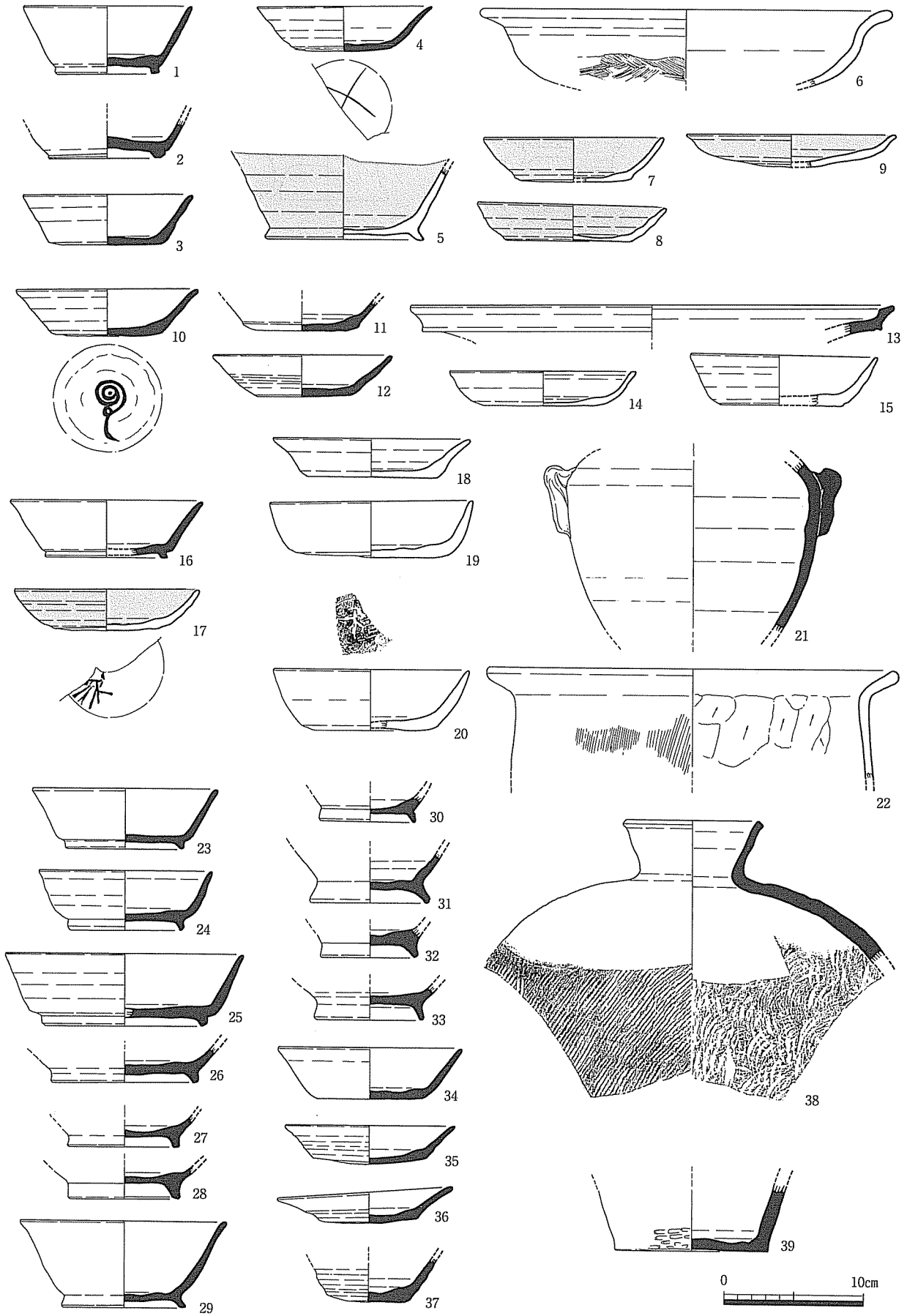


图8 9407調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

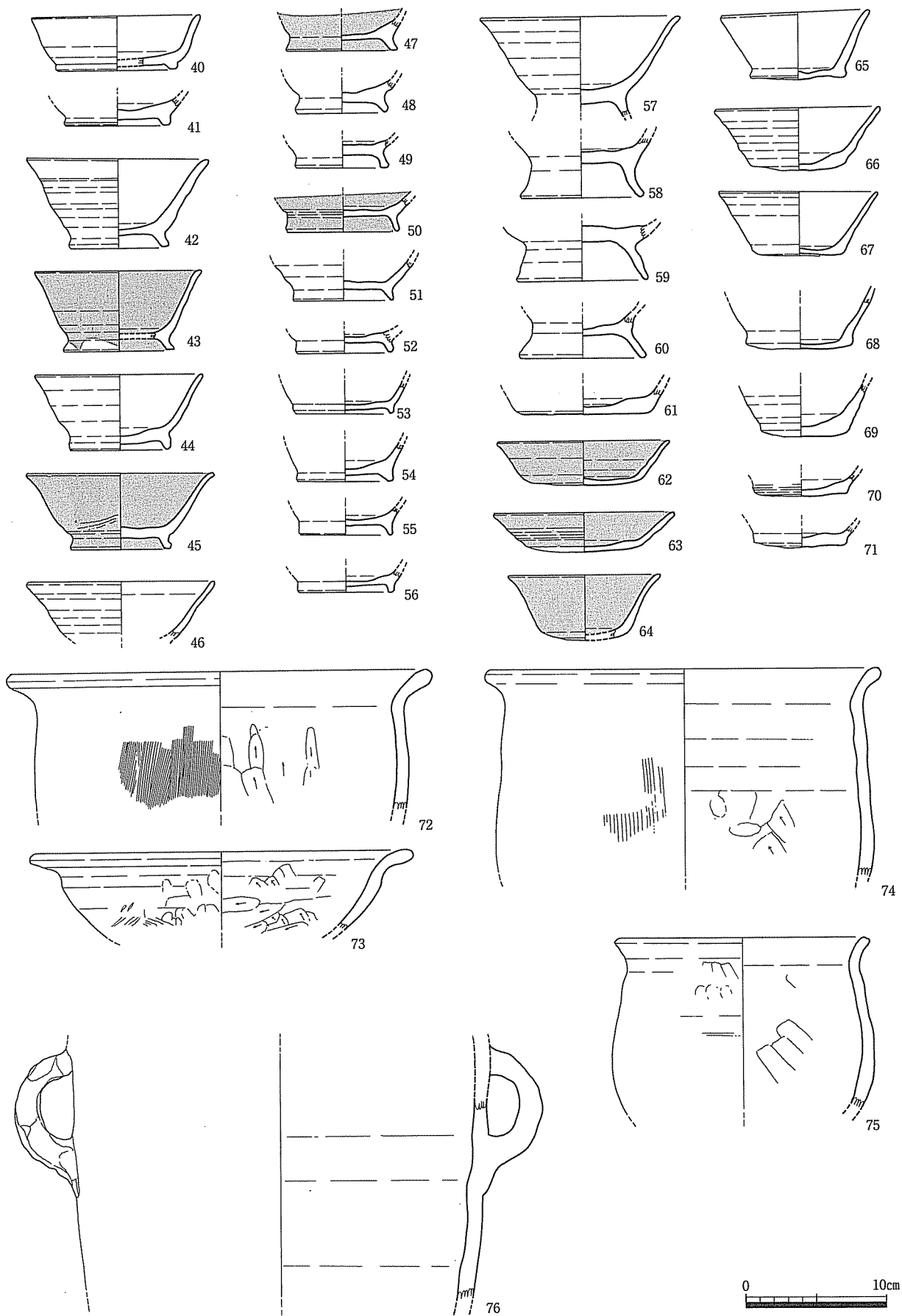


図9 9407調査地点出土遺物実測図2 (1/4)

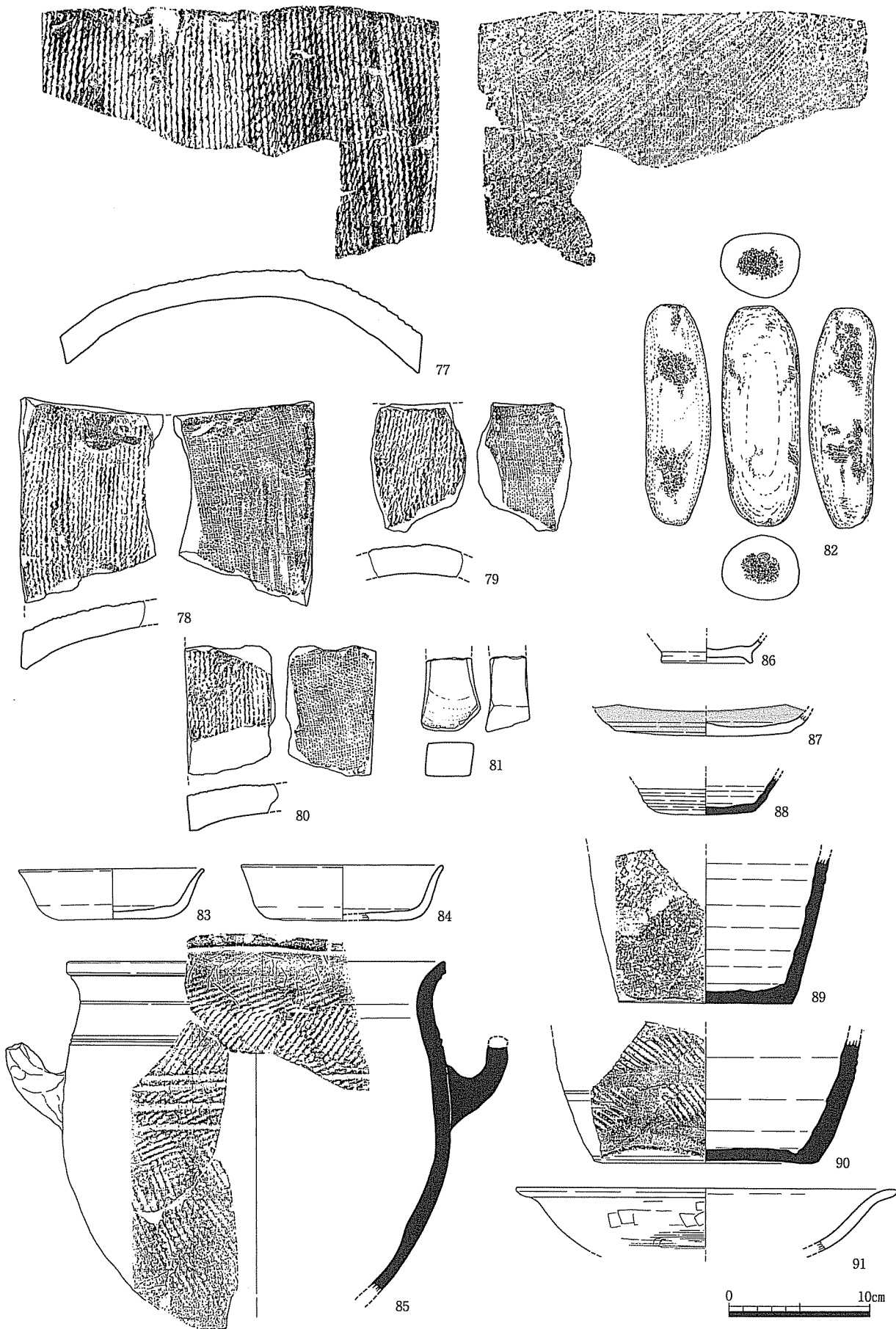


図10 9407調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

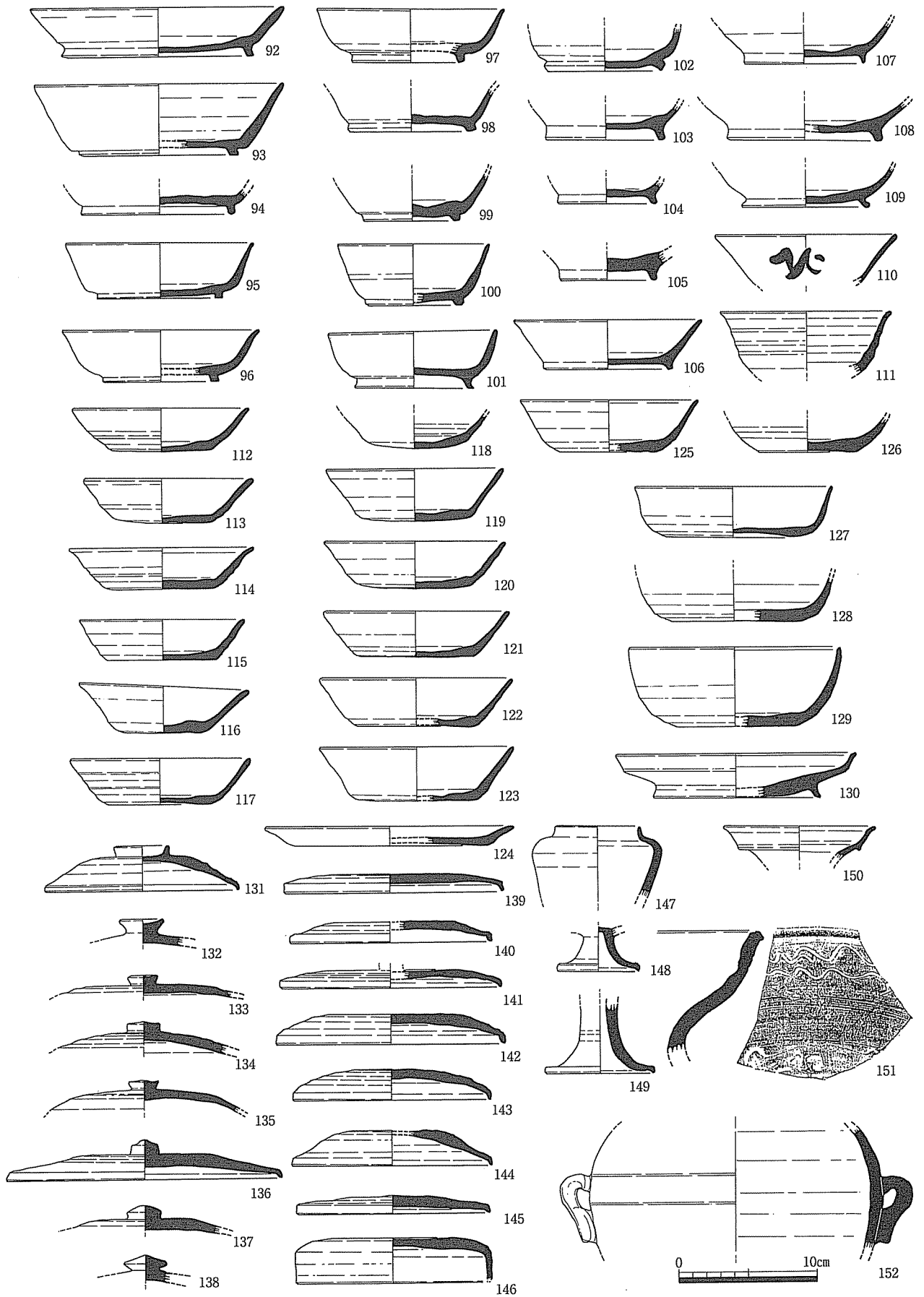


図11 9407調査地点出土遺物実測図4 (1/4)

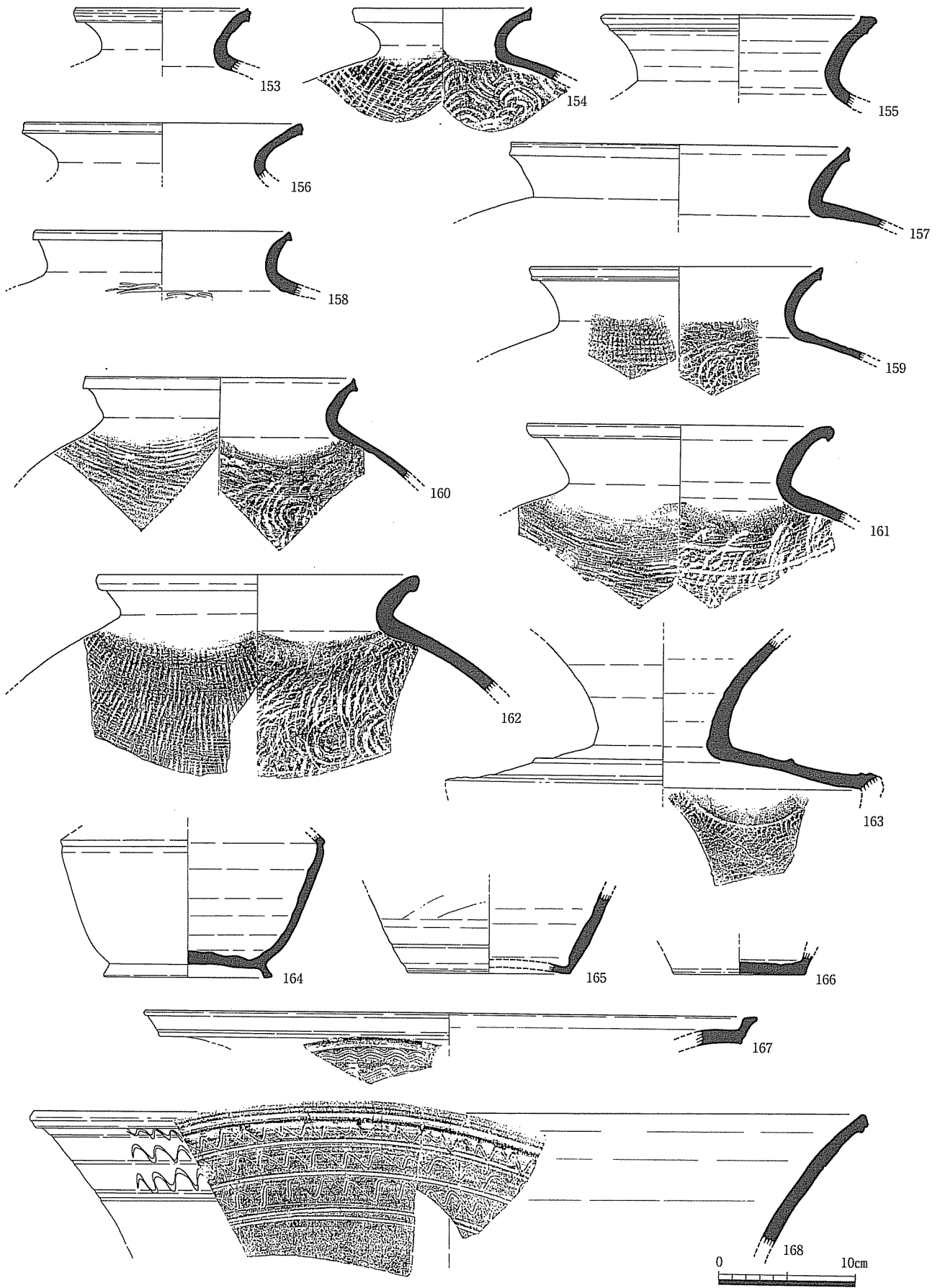


图12 9407調査地点出土遺物実測図5 (1/4)



1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

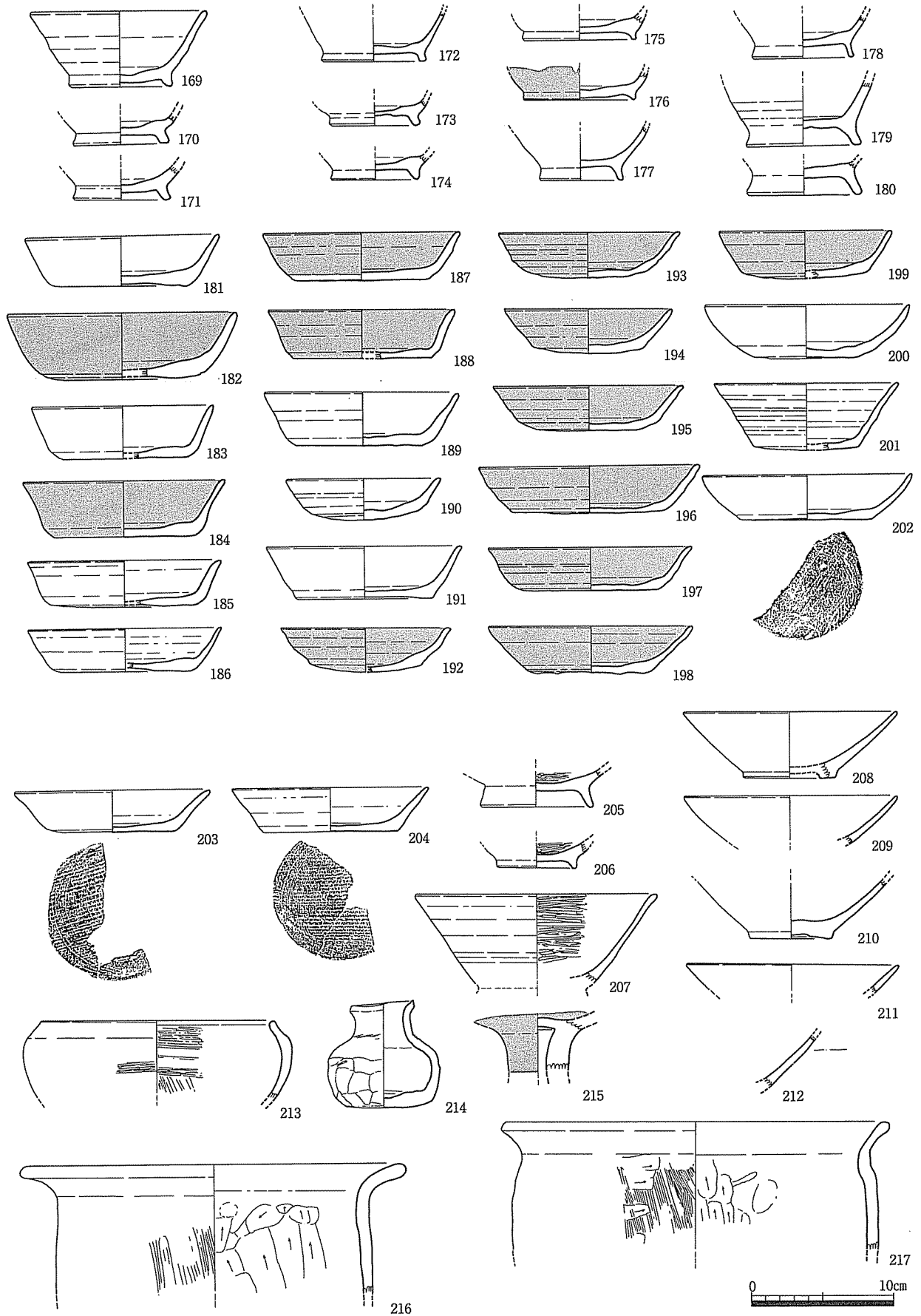


図13 9407調査地点出土遺物実測図6 (1/4)

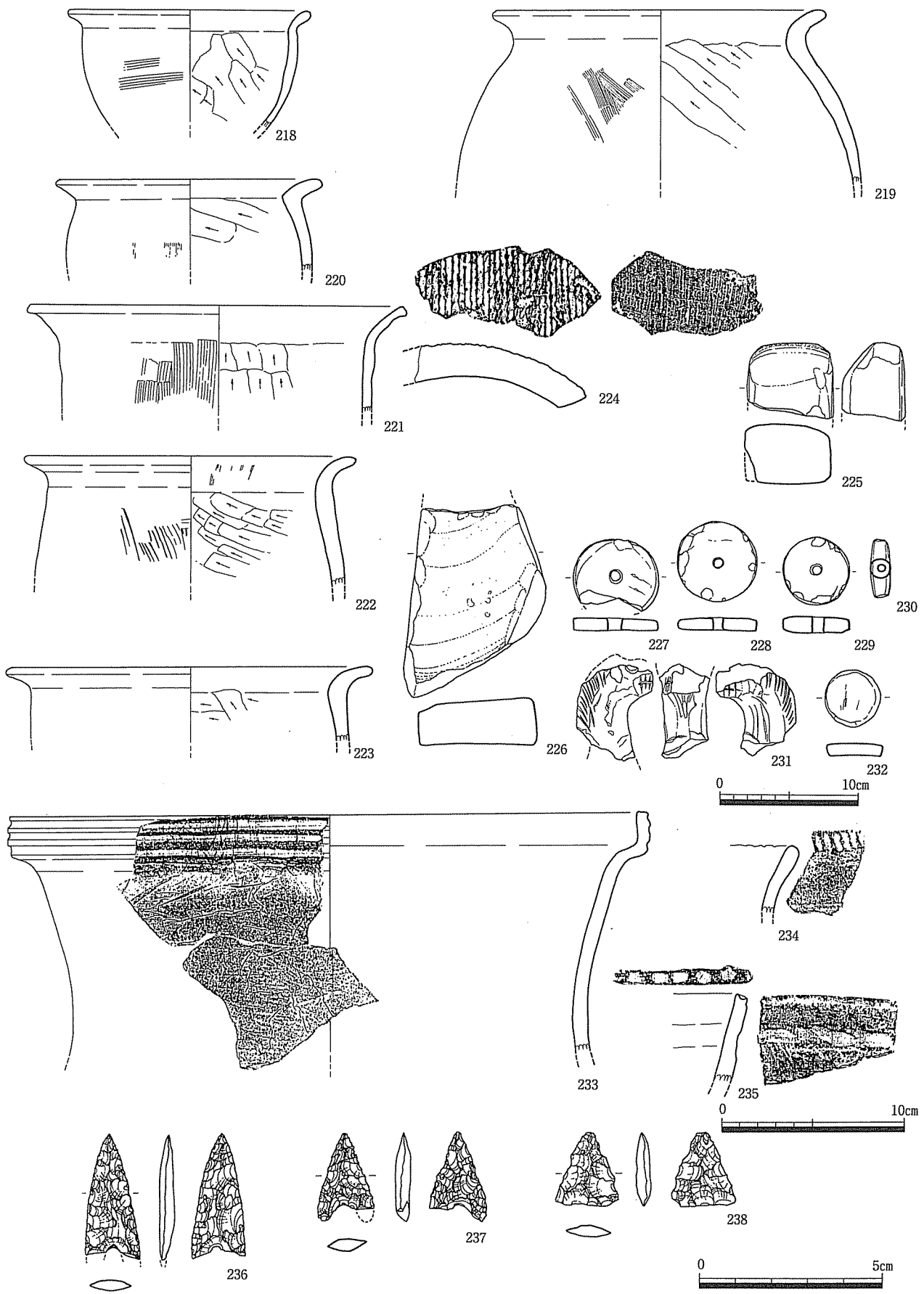


図14 9407調査地点出土遺物実測図7 (1/4・1/3・2/3)

1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

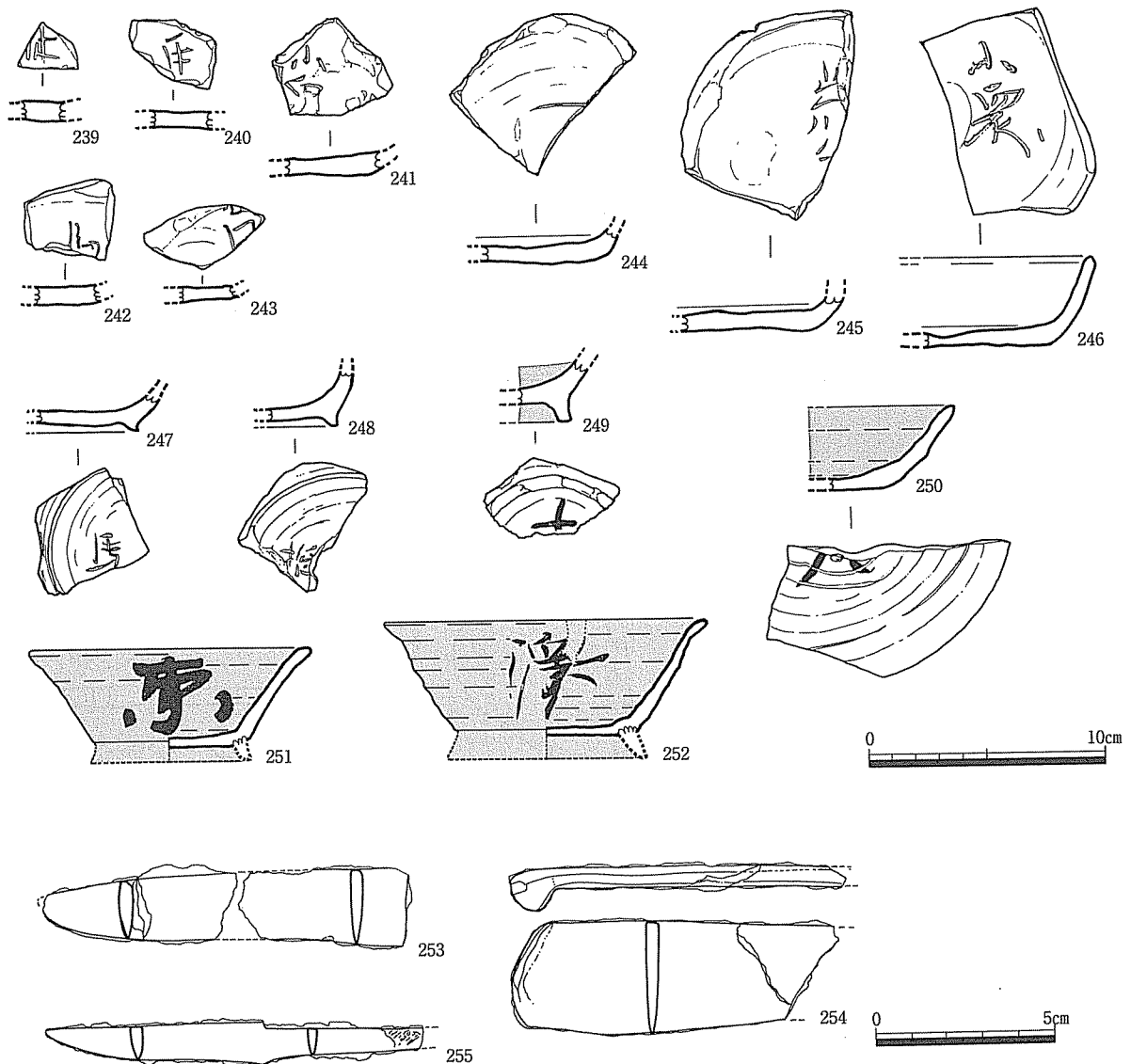


図15 9407調査地点出土遺物実測図8 (1/3・1/2)

224は布目瓦の平瓦の破片である。225・226は砥石である。225は天草産の砂岩を使用している。砥石はこのほか3点ほど出土している。227から229は紡錘車であるが、227が土器片再利用のもので、229は砂岩製である。232は同じく土製の円盤であるが、整形焼成で、再利用品ではない。用途不明。230は土製漁網錘である。

231は須恵製の土馬である。頸～頭部の破片であるが、鬘上部と頭部、鼻面を欠損している。目は粘土を貼りつけて形作っており、鬘や耳はつまみ出して整形している。鬘および口(歯)をヘラによる沈線によって描き出している。

233から235は縄文土器片である。233は晩期初頭の深鉢形土器の口縁部片である。234は口唇部に刻み目をもつ。235は口唇部に丸い刺突文を連続して施すものである。236から238は石鏃である。236は安山岩製、237は黒曜石製、238はチャート製である。

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
8	1	須恵器	碗	口径 12.0 底径 7.4 器高 5.0	口縁3/4欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5Y6/1 外:Hue5Y6/1	1号住居址	
	2	須恵器	碗	底径 8.4	口縁部欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue2.5Y6/1 外:Hue2.5Y6/1	1号住居址	
	3	須恵器	坏	口径 12.0 底径 8.3 器高 3.6	1/3欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5Y7/1 外:Hue5Y7/1	1号住居址 付近	
	4	須恵器	坏	口径 12.6 底径 6.9 器高 3.2	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5Y7/1 外:Hue5Y7/1	1号住居址	ヘラ記号
	5	土師器	碗	底径 11.3 最大径 14.3	口縁部欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue7.5YR7/3 外:Hue7.5YR7/3	1号住居址 付近	内外丹塗
	6	土師器	鉢	口径 29.4	口縁部1/3・ 底部欠	内:削り・ナデ 外:ハケ目	内:Hue10YR7/3 外:Hue7.5YR6/6	1号住居址 竈	
	7	土師器	坏	口径 8.0 底径 8.2 器高 3.2	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue2.5YR6/8 外:Hue2.5YR6/8	1号住居址 竈	内外丹塗
	8	土師器	坏	口径 13.4 底径 9.0 器高 2.6	口縁一部欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5YR6/8 外:Hue5YR6/8	1号住居址 竈	内外丹塗
	9	土師器	皿	口径 15.0	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5YR6/8 外:Hue5YR6/8	1号住居址 付近	内外丹塗
	10	須恵器	坏	口径 12.9 底径 7.6 器高 3.4	1/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue2.5Y5/1 外:Hue7.5Y5/1	2号住居址	墨書(記号)
	11	須恵器	坏	底径 8.4 最大径 10.8	1/2・口縁 欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5Y6/1 外:Hue5Y6/1	2号住居址	
	12	須恵器	坏	口径 12.9 底径 6.8 器高 3.0	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:HueN6/0 外:HueN6/0	2号住居址	
	13	須恵器	壺	口径 34.45	1/8	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5YR6/2 外:Hue5YR5/2	2号住居址	硬質
	14	土師器	坏	口径 13.3 底径 8.8 器高 2.5	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue2.5YR6/8 外:Hue2.5YR6/8	3号住居址 竈	
	15	土師器	坏	口径 13.4 底径 8.5 器高 3.6	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue2.5YR6/8 外:Hue2.5YR6/8	3号住居址	灯明皿
	16	須恵器	碗	口径 23.7 底径 8.75 器高 4.1	1/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5Y5/1 外:Hue5Y5/1	100号ピット	
	17	土師器	坏	口径 13.3 底径 7.3 器高 3.0		内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5YR6/6 外:Hue5YR5/6	122号ピット	墨書・内外丹塗・ 内側煤付着
	18	土師器	坏	口径 14.1 底径 9.2 器高 2.8	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5YR7/6 外:Hue5YR7/6	101号ピット	糸切・板目
	19	土師器	坏	口径 14.5 底径 9.7 器高 4.0	口縁一部欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue7.5YR8/6 外:Hue7.5YR8/6	1号ピット	
	20	土師器	坏	口径 14.0 底径 7.6 器高 4.4	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue7.5YR8/6 外:Hue7.5YR8/6	127号ピット	内底ヘラ書判読不能・ 灯明皿
	21	須恵器	有耳壺	最大径 18.0	肩部1/5	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue5GY5/1 外:HueN4/1	125号ピット	把手
	22	土師器	甕	口径 29.3	口縁1/4	内:削り 外:ハケ目	内:Hue7.5YR7/4 外:Hue7.5YR7/4	2号ピット	
	23	須恵器	碗	口径 13.2 底径 8.5 器高 4.3	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue7.5YR6/2 外:Hue2.5YR5/1	西側遺物 集中区	硬質

1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No.	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
8	24	須恵器	碗	口径 12.5 底径 8.3 器高 4.3	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：HueN6/0 外：HueN6/0	西側遺物 集中区	
	25	須恵器	碗	口径 17.2 底径 12.0 器高 5.2	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y8/1 外：Hue5Y8/1	西側遺物 集中区	軟質
	26	須恵器	碗	底径 10.6	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y8/1 外：Hue5Y8/2	西側遺物 集中区	軟質
	27	須恵器	碗	底径 8.0	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y8/2 外：Hue5Y8/2	西側遺物 集中区	軟質
	28	須恵器	碗	底径 7.9	1/2・口縁 部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y7/1 外：Hue5Y7/1	西側遺物 集中区	やや軟質
	29	須恵器	碗	口径 14.8 底径 8.8 器高 6.2	口縁大部分 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR5/1 外：Hue10YR5/1	西側遺物 集中区	
	30	須恵器	碗	底径 5.8	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y5/1 外：Hue5Y5/1	西側遺物 集中区	やや軟質
	31	須恵器	碗	底径 8.7	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y6/1 外：Hue7.5Y6/1	西側遺物 集中区	
	32	須恵器	碗	底径 7.0	底部のみ	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y6/1 外：Hue5Y7/2	西側遺物 集中区	やや軟質
	33	須恵器	碗	底径 7.8	口縁欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y7/2 外：Hue2.5Y7/2	西側遺物 集中区	黒書か？
	34	須恵器	坏	口径 13.2 底径 7.3 器高 3.7	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y7/1 外：Hue2.5Y5/1	西側遺物 集中区	
	35	須恵器	坏	口径 12.3 底径 8.0 器高 2.8	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y7/2 外：Hue5Y7/2	西側遺物 集中区	
	36	須恵器	坏	口径 12.6 底径 7.2 器高 2.2	口縁部1/4 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y6/2 外：Hue2.5Y6/2	西側遺物 集中区	
	37	須恵器	坏	底径 5.6	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5Y6/1 外：Hue5Y6/1	西側遺物 集中区	
38	須恵器	壺	口径 10.0 最大径 24.7	口縁部1/2	内：同心円文 外：平行叩き	内：Hue7.5Y7/1 外：Hue7.5Y5/1	西側遺物 集中区		
39	須恵器	甕	底径 10.9 最大径 13.2	底部1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/4 外：Hue2.5YR5/6	西側遺物 集中区	底部付近叩き	
9	40	土師器	碗	口径 12.1 底径 8.7 器高 3.9	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	西側遺物 集中区	
	41	土師器	碗	底径 7.6	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR7/6 外：Hue5YR7/6	西側遺物 集中区	
	42	土師器	碗	口径 12.9 底径 7.3 器高 6.4	口縁部一部 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR6/4 外：Hue7.5YR6/4	西側遺物 集中区	
	43	土師器	碗	口径 11.9 底径 7.9 器高 5.4	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5YR5/8 外：Hue2.5YR5/8	西側遺物 集中区	内外丹塗
	44	土師器	碗	口径 12.0 底径 7.2 器高 5.4	口縁部1/2 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR6/6 外：Hue5YR6/6	西側遺物 集中区	
	45	土師器	碗	口径 13.4 底径 7.2 器高 5.45	口縁部1/2 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR5/6 外：Hue5YR5/6	西側遺物 集中区	内外丹塗
	46	土師器	碗(坏)	口径 13.5	口縁1/8	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR4/2 外：Hue10TE4/2	西側遺物 集中区	

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No.	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
9	47	土師器	碗	底径 7.9	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue5YR6/6 外: Hue7.5YR6/4	西側遺物 集中区	内外丹塗
	48	土師器	碗	底径 6.7	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR7/6 外: Hue7.5YR7/6	西側遺物 集中区	
	49	土師器	碗	底径 6.7	口縁欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR5/3 外: Hue7.5YR5/3	西側遺物 集中区	
	50	土師器	碗	底径 8.2	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue5YR5/6 外: Hue5YR5/6	西側遺物 集中区	内外丹塗
	51	土師器	碗	底径 7.1	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR6/4 外: Hue7.5YR5/3	西側遺物 集中区	
	52	土師器	碗	底径 6.9	高台	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 外: Hue10YR7/4	西側遺物 集中区	
	53	土師器	碗	底径 7.2	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR6/4 外: Hue7.5YR6/4	西側遺物 集中区	底裏板目
	54	土師器	碗	底径 6.8	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue10YR7/4 外: Hue10YR7/4	西側遺物 集中区	
	55	土師器	碗	底径 6.4	口縁欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR7/3 外: Hue7.5YR7/3	西側遺物 集中区	
	56	土師器	碗	底径 6.8	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue5YR6/6 外: Hue5YR7/6	西側遺物 集中区	
	57	土師器	碗	口径 14.2	口縁部1/2 欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR7/4 外: Hue7.5YR7/6	西側遺物 集中区	外面煤付着
	58	土師器	碗	底径 8.8	口縁部欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR6/4 外: Hue7.5YR6/4	西側遺物 集中区	外面煤付着
	59	土師器	碗	底径 9.3	口縁部欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR6/3 外: Hue7.5YR7/4	西側遺物 集中区	
	60	土師器	碗	底径 9.0	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue5YR6/6 外: Hue5YR6/6	西側遺物 集中区	
	61	土師器	坏	底径 8.8	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue5YR6/6 外: Hue5YR6/6	西側遺物 集中区	
	62	土師器	坏	口径 12.2 底径 8.0 器高 3.2	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue2.5YR6/8 外: Hue5YR6/6	西側遺物 集中区	内外丹塗
	63	土師器	坏	口径 12.9 底径 8.2 器高 2.7	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue5YR6/6 外: Hue5YR7/6	西側遺物 集中区	内外丹塗
	64	土師器	坏	口径 10.9	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue5YR6/6 外: Hue5YR6/6	西側遺物 集中区	内外丹塗
	65	土師器	坏	口径 10.6 底径 6.9 器高 4.8	口縁2/3欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR8/4 外: Hue5YR7/8	西側遺物 集中区	
	66	土師器	坏	口径 11.8 底径 6.6 器高 4.5	口縁2/3欠	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR7/6 外: Hue7.5YR7/6	西側遺物 集中区	
	67	土師器	坏	口径 11.3 底径 6.0 器高 4.6	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue5YR7/8 外: Hue5YR7/8	西側遺物 集中区	
	68	土師器	坏	底径 7.5	1/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue7.5YR7/4 外: Hue7.5YR7/4	西側遺物 集中区	
	69	土師器	坏	底径 6.0	底部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue10YR7/4 外: Hue10YR8/3	西側遺物 集中区	

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No.	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
9	70	土師器	坏	底径 6.7	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR6/6 外：Hue7.5YR7/6	西側遺物 集中区	
	71	土師器	坏	底径 6.5	口縁欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue	西側遺物 集中区	
	72	土師器	甕	口径 30.1	口縁1/4	内：削り 外：ハケ目	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue10YR6/4	西側遺物 集中区	煤付着
	73	土師器	鉢	口径 27.2	口縁1/5	内：ハケ目 外：削り	内：Hue10YR7/3 外：Hue10YR6/3	西側遺物 集中区	煤付着
	74	土師器	甕	口径 28.0	1/2・底部 欠	内：削り・ナデ 外：ハケ目	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR8/6	西側遺物 集中区	
	75	土師器	甕	口径 18.0 最大径 19.0	口縁1/5	内：削り 外：ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	西側遺物 集中区	外面煤付着
	76	土師器	把手付甕	最大径 29.4	把手部分	内：格子叩き 外：ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	西側遺物 集中区	把手
10	77	瓦	平瓦	長さ 26.0 幅 19.0 厚さ 2.0		内：布目 外：縄目	内：Hue10YR6/1 外：Hue10YR6/1	西側遺物 集中区	
	78	瓦	平瓦	長さ 14.5 幅 10.5 厚さ 2.5		内：布目 外：縄目	内：Hue7.5YR7/3 外：Hue7.5YR7/3	西側遺物 集中区	
	79	瓦	平瓦	長さ 9.0 幅 6.5 厚さ 2.0		内：布目 外：縄目	内：Hue10YR6/3 外：Hue10YR6/3	西側遺物 集中区	
	80	瓦	平瓦	長さ 9.2 幅 6.8 厚さ 2.5		内：布目 外：縄目	内：Hue7.5YR7/3 外：Hue7.5YR7/3	西側遺物 集中区	
	81	石器	砥石	長さ 5.1 幅 4.5 厚さ 3.1	約1/2		Hue10YR7/4	西側遺物 集中区	天草産
	82	石器	石杵	長さ 15.8 幅 5.2 厚さ 4.7	完形		青緑色	西側遺物 集中区	
	83	土師器	坏	口径 13.2 底径 8.0 器高 3.6	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR8/8 外：Hue5YR7/8	焼土1	
	84	土師器	坏	口径 14.4 底径 10.0 器高 4.0	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5YR7/8 外：Hue5YR7/8	焼土1	
	85	須恵器	把手付甕 (甕?)	口径 27.0 最大径 27.6	1/2・底部	内：ナデ 外：格子叩き	内：Hue5YR7/6 外：Hue5YR7/6	焼土1	把手
	86	土師器	碗	底径 6.5	口縁欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR8/6 外：Hue7.5YR3/6	トレンチ 遺物集中 区	
	87	土師器	坏	底径 12.4	1/2・口縁 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5YR6/8 外：Hue2.5YR6/8	トレンチ 遺物集中 区	内外丹塗
	88	須恵器	坏	底径 7.05	口縁欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y6/2 外：Hue2.5Y6/2	トレンチ 遺物集中 区	板目
	89	須恵器	甕	底径 12.3	底部1/2	内：回転ナデ 外：格子叩き	内：Hue5Y8/1 外：Hue10YR7/3	トレンチ 遺物集中 区	
	90	須恵器	甕	底径 15.9	底部1/2	内：同心円 外：格子叩き	内：Hue7.5YR6/2 外：Hue7.5YR5/1	トレンチ 遺物集中 区	
91	土師器	鉢	口径 27.0	1/4・底部 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	焼土3	外面煤付着	
11	92	須恵器	高台付皿	口径 18.4 底径 14.0 器高 3.6	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：HueN5/0 外：Hue2.5Y6/1	Ⅱ層	

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
11	93	須恵器	碗	口径 18.1 底径 11.5 器高 5.3	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc7.5Y6/1 外：HucN5/0	II層	
	94	須恵器	碗	底径 11.2	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc7.5YR6/3 外：Huc2.5YR6/4	II層	硬質
	95	須恵器	碗	口径 13.6 底径 9.1 器高 4.1	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：HucN7/0 外：HucN6/0	II層	
	96	須恵器	碗	口径 14.4 底径 8.4 器高 3.8	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5Y5/1 外：Huc2.5Y5/1	II層	
	97	須恵器	碗	口径 13.6 底径 8.5 器高 4.0	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc7.5YR6/4 外：Huc2.5YR5/2	II層	硬質
	98	須恵器	碗	底径 9.2	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5Y7/1 外：Huc5Y7/1	II層	
	99	須恵器	碗	底径 7.0	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5Y8/1 外：Huc5Y5/1	II層	軟質
	100	須恵器	碗	口径 11.0 底径 7.1 器高 4.5	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc10YR6/2 外：Huc5Y7/1	II層	外面中心に自然釉
	101	須恵器	碗	口径 12.2 底径 8.6 器高 4.15	口縁1/2欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc10YR7/3 外：Huc5YR4/2	II層	硬質
	102	須恵器	碗	底径 8.8	1/2・口縁 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5T6/1 外：Huc5Y8/1	II層	軟質
	103	須恵器	碗	底径 8.6	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5Y7/2 外：Huc2.5Y7/2	II層	外面一部煤付着
	104	須恵器	碗	底径 7.2	底部のみ	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5Y7/2 外：Huc2.5Y7/2	II層	軟質
	105	須恵器	碗	底径 7.0	口縁欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5Y7/1 外：Huc5Y7/1	II層	軟質
	106	須恵器	碗	口径 13.7 底径 9.4 器高 3.7	1/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5Y5/1 外：Huc2.5Y4/1	II層	
	107	須恵器	碗	底径 8.8	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc7.5Y4/1 外：Huc5Y6/1	II層	軟質
	108	須恵器	碗	底径 11.2	1/2・口縁 部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5YR7/1 外：Huc2.5YR5/1	II層	軟質
	109	須恵器	碗	底径 9.2	1/2・口縁 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：HucN5/0 外：HucN5/0	II層	
	110	須恵器	碗	口径 13.2	口縁部1/5	内：ナデ 外：ナデ	内：Huc5Y6/2 外：Huc5Y6/2	II層	黒書「北カ」
	111	須恵器	碗	口径 12.4	口縁1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5YR6/3 外：Huc10R4/2	II層	硬質
	112	須恵器	坏	口径 12.8 底径 7.1 器高 3.2	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5Y6/1 外：Huc2.5Y6/1	II層	黒書か？
	113	須恵器	坏	口径 12.4 底径 7.4 器高 3.3	口縁3/4欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5Y8/2 外：Huc5Y8/2	II層	軟質
	114	須恵器	坏	口径 13.4 底径 8.3 器高 3.1	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5Y5/1 外：Huc2.5Y5/1	II層	やや軟質
	115	須恵器	坏	口径 12.05 底径 8.0 器高 3.0	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5Y7/2 外：Huc5Y7/2	II層	



表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No.	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
11	116	須恵器	坏	口径 12.3 底径 6.6 器高 3.7	口縁部1/3 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y7/1 外：Hue5Y7/1	Ⅱ層	
	117	須恵器	坏	口径 13.1 底径 7.2 器高 3.35	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y6/1 外：Hue5Y6/1	Ⅱ層	
	118	須恵器	坏	底径 7.3	3/5口縁部 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y6/2 外：Hue2.5Y6/1	Ⅱ層	底部板目
	119	須恵器	坏	口径 12.8 底径 8.2 器高 3.9	1/5	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue10Y5/1 外：Hue10Y5/1	Ⅱ層	
	120	須恵器	坏	口径 13.0 底径 8.2 器高 3.4	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y7/1 外：Hue5Y7/1	Ⅱ層	
	121	須恵器	坏	口径 13.4 底径 8.4 器高 3.3	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y8/2 外：Hue2.5Y8/2	Ⅱ層	軟質
	122	須恵器	坏	口径 14.0 底径 9.0 器高 3.6	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5Y8/1 外：Hue7.5Y8/1	Ⅱ層	軟質
	123	須恵器	坏	口径 14.0 底径 8.5 器高 3.9	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y7/2 外：Hue5Y7/2	Ⅱ層	軟質
	124	須恵器	皿	口径 18.0 底径 14.0 器高 1.4	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y7/1 外：Hue7.5Y6/1	Ⅱ層	
	125	須恵器	坏	口径 13.0 底径 6.9 器高 3.8	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y5/2 外：Hue2.5Y6/1	Ⅱ層	断面 Hue10Y7/6 硬質
	126	須恵器	坏	底径 7.0	1/3・口縁 部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR5/1 外：Hue10YR6/1	Ⅱ層	硬質
	127	須恵器	坏	口径 14.3 底径 9.3 器高 3.7	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5Y6/2 外：Hue7.5Y6/1	Ⅱ層	
	128	須恵器	碗	底径 9.2	1/3口縁部 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR6/3 外：Hue2.5YR5/4	Ⅱ層	硬質
	129	須恵器	碗	口径 15.4 底径 8.6 器高 5.8	1/4	内：回転ナデ 外：一部ヘラ切	内：Hue7.5YR6/4 外：Hue10YR5/1	Ⅱ層	硬質 断面 Hue7.5YR7/4
	130	須恵器	高台付皿 (蓋?)	口径 17.4 底径 12.0 器高 3.2	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR6/3 外：Hue5YR6/4	Ⅱ層	硬質
	131	須恵器	蓋	口径 14.1 天井部径4.1	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR6/2 外：Hue5YR7/6	Ⅱ層	硬質
	132	須恵器	蓋	最大径 6.0 天井部径3.4	鈕のみ	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5YR5/2 外：Hue7.5YR5/3	Ⅱ層	
	133	須恵器	蓋	最大径 12.6 天井部径2.2	1/3・口縁 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y7/2 外：Hue2.5Y6/1	Ⅱ層	つまみ
	134	須恵器	蓋	最大径 12.3 天井部径 2.4	鈕	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y8/2 外：Hue2.5Y8/2	Ⅱ層	軟質
	135	須恵器	蓋	最大径 13.6 天井部径2.4	1/4・口縁 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5Y5/1 外：Hue2.5Y5/1	Ⅱ層	
	136	須恵器	蓋	口径 20.1 天井部径2.0	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y8/2 外：Hue5Y8/2	Ⅱ層	やや軟質
	137	須恵器	蓋	最大径10.9 天井部径 2.5	鈕のみ	内：回転ナデ 外：回転ヘラ削 り	内：Hue2.5Y7/2 外：Hue5Y6/1	Ⅱ層	
	138	須恵器	蓋	天井部径3.2	鈕のみ	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR7/1 外：Hue2.5Y6/2	Ⅱ層	外面自然釉

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No	遺物	種類(器種)	量量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
11	139	須恵器	蓋	口径 16.0 器高 1.4	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5YR5/2 外：Huc5YR4/1	II層	硬質・外面自然釉
	140	須恵器	蓋	口径 14.5 器高 1.5	1/2	内：回転ナデ 外：一部へら削り	内：Huc7.5Y6/1 外：Huc5Y6/1	II層	硯転用か
	141	須恵器	蓋	口径 16.0 器高 1.3	1/3・鈕欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc10YR5/1 外：Huc2.5Y6/1	II層	
	142	須恵器	蓋	口径 16.6 器高 2.2	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc7.5Y5/1 外：Huc5Y5/1	II層	
	143	須恵器	蓋	口径 14.35 器高 2.2	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5Y5/2 外：Huc5Y6/2	II層	
	144	須恵器	蓋	口径 16.4 器高 2.6	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5Y8/1 外：Huc5Y8/2	II層	軟質
	145	須恵器	蓋	口径 14.0 器高 1.35	1/2	内：回転ナデ 外：一部へら削り	内：Huc2.5Y7/2 外：Huc5Y6/2	II層	
	146	須恵器	蓋	口径 14.15 器高 3.25	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc10YR5/2 外：Huc5YR5/4	II層	外面自然釉・硬質
	147	須恵器	小壺	口径 6.3 最大径 9.4	1/3・底部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc5Y6/1 外：Huc5Y7/1	II層	
	148	須恵器	高坏	底径 6.1	脚1/4	内：ナデ 外：ナデ	内：Huc7.5Y5/1 外：Huc7.5Y5/1	II層	
	149	須恵器	高坏	底径 8.05	脚1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5YR4/4 外：Huc2.5YR4/4	II層	断面5Y8/1・硬質
	150	須恵器	壺	口径 11.1	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc7.5YR6/2 外：Huc5YR6/1	II層	硬質
	151	須恵器	壺		口縁部片 1/8	内：ナデ 外：波状文	内：Huc5Y4/1 外：Huc7.5Y5/1	II層	内側自然釉
	152	須恵器	有耳壺	最大径 21.0	把手部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Huc2.5Y7/2 外：Huc10YR5/1	II層	
12	153	須恵器	甕	口径 13.0	口頸部1/4	内：同心円文 外：	内：Huc5Y5/1 外：Huc5Y6/2	II層	
	154	須恵器	甕	口径 13.0 最大径 17.6	口縁1/2	内：同心円文 外：平行叩き	内：Huc7.5Y6/1 外：Huc7.5Y6/1	II層	
	155	須恵器	甕	口径 20.05	口縁1/6	内：ナデ 外：ナデ	内：Huc2.5Y5/2 外：Huc10YR5/2	II層	
	156	須恵器	甕	口径 20.2	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Huc7.5Y5/1 外：Huc2.5Y5/2	II層	緑色自然釉
	157	須恵器	甕	口径 24.6 最大径 34.0	口縁1/6	内：同心円文 外：平行叩き	内：HucN7/0 外：Huc7.5Y7/1	II層	
	158	須恵器	甕	口径 18.8	口頸部1/4	内：同心円文 外：平行叩き	内：Huc2.5YR4/2 外：Huc7.5Y7/1	II層	自然釉
	159	須恵器	甕	口径 21.3 最大径 27.4	口頸部2/3	内：同心円文 外：格子目叩き	内：Huc5Y6/1 外：Huc2.5Y5/1	II層	頸部のみ赤焼
	160	須恵器	甕	口径 19.5 最大径 28.0	口頸部1/4	内：同心円文 外：平行叩き	内：Huc5Y5/1 外：Huc5Y4/1	II層	自然釉
	161	須恵器	甕	口径 22.2 最大径 24.1	口頸部1/4	内：同心円文 外：平行叩き	内：Huc5Y7/1 外：Huc5Y7/1	II層	

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
12	162	須恵器	甕	口径 23.2 最大径 34.7	口縁部2/3	内：同心円文 外：平行叩き	内：Hue5Y7/2 外：Hue5Y6/1	II層	
	163	須恵器	甕	最大径 27.0	頸部	内：同心円文 外：	内：Hue2.5Y5/1 外：Hue10YR5/3	II層	内外緑色 自然釉
	164	須恵器	長頸甕	底径 12.4 最大径 19.1	胴・底部 1/4	内：同心円文 外：平行叩き	内：Hue2.5Y6/2 外：Hue5YR5/4	II層	
	165	須恵器	甕(甕)	底径 11.8 最大径 17.7	底部1/5	内：ナデ 外：ヘラ削り	内：Hue7.5YR5/3 外：Hue2.5Y6/1	II層	
	166	須恵器	甕(甕)	底径 9.6	底部2/3	内：ナデ 外：ヘラナデ	内：Hue5YR6/4 外：Hue5YR5/3	II層	赤焼
	167	須恵器	甕	口径 44.5	口縁部片	内：ナデ 外：波状文	内：Hue5Y7/1 外：Hue5YR4/3	II層	赤焼
	168	須恵器	甕	口径 61.1	口縁部片	内：ナデ 外：波状文	内：HueN3/0 外：HueN5/0	II層	自然釉
13	169	土師器	碗	口径 12.4 底径 7.3 器高 5.4	口縁部1/2 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR7/8 外：Hue5YR7/8	II層	
	170	土師器	碗	底径 6.7	底部	内：ヘラナデ 外：ナデ	内：Hue7.5YR8/4 外：Hue10YR8/4	II層	
	171	土師器	碗	底径 6.7	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR8/4 外：Hue7.5YR8/4	西トレン チ住居址	
	172	土師器	碗	底径 7.5	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR6/6 外：Hue7.5YR4/2	II層	煤付着
	173	土師器	碗	底径 6.5	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5Y6/2 外：Hue5YR8/4	II層	
	174	土師器	碗	底径 6.3	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	II層	高台に煤付着
	175	土師器	碗	底径 8.1	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR7/3 外：Hue2.5Y7/3	II層	
	176	土師器	碗	底径 7.9	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	II層	外丹塗
	177	土師器	碗	底径 5.9	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR6/4 外：Hue10YR6/3	II層	
	178	土師器	碗	底径 8.5	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR6/4 外：Hue7.5YR6/4	II層	
	179	土師器	碗	底径 8.0	底部	内：ナデ 外：ヘラナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	II層	
	180	土師器	碗	底径 8.0	口縁部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 外：Hue7.5YR7/6	II層	
	181	土師器	坏	口径 13.7 底径 9.5 器高 3.7	口縁部一部 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR8/6 外：Hue7.5YR8/6	II層	
	182	土師器	坏	口径 16.2 底径 10.5 器高 4.8	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR8/4	II層	内外丹塗・黒斑・ 煤付着
183	土師器	坏	口径 12.8 底径 8.0 器高 3.8	口縁1/1	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5Y5/1 外：Hue5YR6/6	II層	自然釉	
184	土師器	坏	口径 14.3 底径 9.5 器高 4.0	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	II層	内外丹塗	

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No.	遺物	種類(器種)	量量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
13	185	土師器	坏	口径 13.65 底径 10.3 器高 3.3	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR8/6	II層	
	186	土師器	坏	口径 13.6 底径 10.1 器高 3.1	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5YR7/8 外：Hue2.5YR7/8	II層	
	187	土師器	坏	口径 14.0 底径 9.8 器高 3.4	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7 Y6:	II層	内外丹塗
	188	土師器	坏	口径 13.2 底径 10.0 器高 3.6	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5YR6/8 外：Hue2.5YR6/8	II層	内外丹塗
	189	土師器	坏	口径 13.9 底径 8.9 器高 3.8	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR7/8 外：Hue5YR7/8	西トレン チ住居址	
	190	土師器	坏	口径 11.0 底径 7.4 器高 3.0	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue2.5YR6/8	II層	灯明皿
	191	土師器	坏	口径 13.9 底径 9.7 器高 3.7	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR7/8 外：Hue5YR7/8	III層	
	192	土師器	坏	口径 12.0 底径 7.75 器高 3.2	1/6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR6/6 外：Hue5YR6/6	II層	内外丹塗
	193	土師器	坏	口径 13.8 底径 6.0 器高 3.3	口縁部1/2 欠	内：回転ナデ 外：回転ヘラ磨 き	内：Hue5YR7/6 外：Hue2.5YR6/8	II層	丹塗・外面煤付着
	194	土師器	坏	口径 11.8 底径 7.5 器高 3.2	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR6/6 外：Hue7.5YR7/6	II層	内外丹塗・煤付着
	195	土師器	坏	口径 13.7 底径 7.2 器高 3.0	口縁1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR6/4 外：Hue5YR6/6	II層	内外丹塗・煤付着
	196	土師器	坏	口径 15.6 底径 10.8 器高 3.4	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5YR6/8 外：Hue2.5YR6/8	II層	内外丹塗
	197	土師器	坏	口径 14.4 底径 9.8 器高 3.1	1/4	内：ヘラ磨き 外：ナデ	内：Hue7.5YR6/4 外：Hue5YR6/6	II層	内外丹塗
	198	土師器	坏	口径 14.35 底径 7.45 器高 3.45	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR7/6 外：Hue5YR7/6	II層	内外丹塗
	199	土師器	坏	口径 12.2 底径 8.5 器高 3.5	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR7/6 外：Hue5YR7/6	II層	内外丹塗
	200	土師器	坏	口径 14.4 底径 7.6 器高 3.9	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR8/6 外：Hue7.5YR8/6	II層	外面煤付着
	201	土師器	坏	口径 13.0 底径 7.7 器高 4.8	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/4 外：Hue7.5YR7/4	II層	
	202	土師器	皿	口径 14.8 底径 9.3 器高 3.3	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR7/4 外：Hue5YR7/4	II層	糸切
	203	土師器	皿	口径 13.8 底径 9.0 器高 3.0	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue Hue5YR7/8 外：Hue	II層	回転糸切・板目
	204	土師器	皿	口径 13.9 底径 9.6 器高 3.1	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR7/8 外：Hue5YR7/8	II層	回転糸切・板目
205	土師器	碗	底径 7.9	底部	内：黒色磨研 外：ナデ	内：HueN1.5/1 外：Hue10YR8/4	II層	内黒	
206	土師器	碗	底径 5.6	口縁欠	内：黒色磨研 外：回転ナデ	内：HueN1.5/0 外：Hue5YR6/6	II層	内黒	
207	土師器	碗(坏)	口径 17.0	口縁1/4	内：黒色磨研 外：ナデ	内：Hue5Y6/1 外：Hue5YR6/6	II層	内黒	

1. 福利施設建設工事に伴う発掘調査

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No.	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
13	208	青磁	越州・碗	口径 15.0 底径 6.5 器高 4.7	1/6	内： 外：	内：Hue2.5Y6/4 外：Hue2.5Y6/4	II層	
	209	青磁	越州・碗	口径 15.0	口縁部片	内： 外：	内：Hue5Y6/3 外：Hue5Y6/3	II層	
	210	青磁	越州・碗	底径 5.8 最大径 13.3	底部	内： 外：	内：Hue5Y6/3 外：Hue5Y6/3	II層	高台に砂目跡
	211	青磁	越州・碗	口径 15.0	口縁部片	内： 外：	内：Hue5Y5/2 外：Hue5Y5/2	II層	
	212	青磁	越州・碗		胴部片	内： 外：	内：Hue5Y5/3 外：Hue7.5YR6/2	II層	見込みに砂目跡
	213	土師器	碗	口径 16.5 最大径19.0	口縁1/4	内：黒色磨研 外：ナデ	内：HueN1.5/0 外：Hue2.5Y8/3	II層	内黒
	214	土師器	壺	口径 4.5 底径 6.3 器高 7.2	完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	II層	
	215	土師器	高坏	最大径6.8	脚部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue2.5YR6/6 外：Hue2.5YR6/6	II層	内外丹塗
	216	土師器	甕	口径 27.25	口縁1/4	内：削り 外：ハケ目	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR8/4	II層	
	217	土師器	甕	口径 27.3	口縁1/5	内：削り 外：ハケ目	内：Hue5YR5/4 外：Hue10YR7/4	II層	
14	218	土師器	甕	口径 17.6	口縁1/5	内：削り 外：ナデ	内：Hue10YR7/4 外：Hue10YR7/3	II層	煤付着
	219	土師器	甕	口径 24.0 最大径 29.0	口縁1/5	内：削り 外：ハケ目	内：Hue5YR6/6 外：Hue5YR7/8	II層	煤付着
	220	土師器	甕	底径 19.2	口縁1/4	内：削り 外：ハケ目	内：Hue5YR6/6 外：Hue5YR6/8	II層	
	221	土師器	甕	口径 27.5	口縁1/5	内：削り 外：ハケ目	内：Hue10YR7/4 外：Hue10YR7/4	II層	煤付着
	222	土師器	甕	口径 24.05	口縁1/4	内：削り 外：ハケ目	内：Hue10YR6/3 外：Hue10YR7/4	II層	煤付着
	223	土師器	甕	口径 26.5	口縁1/5	内：削り 外：ハケ目	内：Hue7.5YR6/4 外：Hue7.5YR7/6	II層	煤付着
	224	瓦	平瓦	長さ 13.0 幅 7.3 厚さ 2.31		内：布目 外：縄目	内：Hue5Y6/2 外：Hue5Y6/2	II層	
	225	石器	砥石	長さ 6.0 幅 5.2 厚さ 4.3	完形		Hue2.5Y8/4	II層	天草産
	226	石器	砥石	長さ 13.5 幅 9.3 厚さ 3.7	約1/2		Hue5Y6/2	II層	砂岩
	227	土製品	紡錘車	直径 6.03 厚さ 0.97 孔径 0.78	2/3		Hue10YR7.4	II層	
	228	土製品	紡錘車	直径 5.8 厚さ 1.03 孔径 0.63	完形	研磨	Hue10YR7/6 Hue10YR8/6	II層	
	229	石器	紡錘車	直径 4.84 厚さ 1.21 孔径 0.69	周辺部一部 欠損	丁寧な研磨	Hue2.5Y5/2	II層	砂岩
	230	土製品	土錘	長さ 4.09 最大径 1.42 孔径 5.2	完形	ナデ	Hue10YR7/6	II層	

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No.	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
14	231	土製品	土馬	長さ 6.98 首径 3.0	頭・首部		Hue2.5GY5/1	II層	須恵質
	232	土製品	紡錘車	直径 3.91 厚さ 0.95	完形	面取	Hue5YR6/6	II層	孔無し・未製品
	233	縄文土器	深鉢	口径 34.2	口縁1/8	内：磨き 外：磨き	内：Hue5Y6/1 外：Hue2.5Y6/2	P104	
	234	縄文土器			口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue7.5YR5/4 外：Hue7.5YR5/4	II層	口縁刻目
	235	縄文土器			口縁部1/6	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue7.5YR5/3 外：Hue5YR5/4	II層	口縁に刺突文
	236	石器	打製石鏃	長さ 3.38 幅 1.44 厚さ 4.1	脚部欠損			包含層下	安産岩
	237	石器	打製石鏃	長さ 2.4 幅 1.47 厚さ 0.42	片脚欠損			4区一括	黒曜石
	238	石器	打製石鏃	長さ 1.98 幅 1.69 厚さ 0.36	ほぼ完形			包含層一括	チャート
15	239	土師器	坏		破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/4 外：Hue10YR6 Y4:	包含層一括	ヘラ書「馬」
	240	土師器	坏		破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR7/3 外：Hue10YR7/3	包含層一括	ヘラ書「馬」?
	241	土師器	坏		破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR8/6 外：Hue7.5YR8/6	包含層一括	ヘラ書「小衆」
	242	土師器	坏		破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR8/3 外：Hue10YR8/4	包含層一括	ヘラ書「馬」?
	243	土師器	坏		破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR8/4 外：Hue10YR8/4	包含層一括	ヘラ書「●口」?
	244	土師器	坏	底径 6.0	底部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR8/6 外：Hue7.5YR8/6	包含層一括	ヘラ書
	245	土師器	坏	底径 4.9	底部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR8/4 外：Hue10YR7/4	包含層一括	ヘラ書・灯明皿
	246	土師器	坏	口径 6.7 底径 5.0 器高 3.7	1/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR7/6	包含層一括	ヘラ書「小衆」
	247	土師器	碗	底径 3.95	底部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.5YR7/6 外：Hue7.5YR8/6	II層	ヘラ書「馬」
	248	土師器	碗	底径 3.5	底部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue10YR8/4 外：Hue7.5YR7/6	包含層一括	ヘラ書「捻(聡)」・外側丹塗
	249	土師器	碗	底径 5.0	底部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue7.6YR6/6 外：Hue5YR6/6	包含層一括	内外丹塗・墨書
	250	土師器	坏	底径 5.15	1/4	内：ヘラ磨き 外：ヘラ磨き	内：Hue5YR6/6 外：Hue5YR6/6	包含層一括	内外丹塗・墨書
	251	土師器	碗	口径 12.0 底径 4.1	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue5YR6/6 外：Hue7.5YR8/4	西側遺物 集中区	内外丹塗・墨書「東」・灯明皿
252	土師器	碗	口径 13.6 底径 器高	1/4	内：ナデ 外：削り・ナデ	内：Hue5YR6/6 外：Hue7.5YR7/6	西側遺物 集中区	内外丹塗・墨書「漆」・灯明皿	
253	鉄製品	刀子	長さ 10.2 幅 2.3 厚さ 0.4	1/2			III層一括	釜欠損	

## 2. まとめ

表3 9407調査地点出土遺物観察表

図	No.	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
15	254	鉄製品	鎌	長さ 9.2 幅 3.3 厚さ 0.4	1/2				先端欠損
	255	鉄製品	刀子	長さ 10.6 幅 1.3 厚さ 0.4					茎欠損

239～250は包含層から出土したヘラ書き土器と墨書土器である。すべて土師器であり、239～246・250が坏、247～249が碗である。ヘラ書き土器の場合、坏は内底、碗は外底に文字が刻まれている。墨書の場合はいずれも外底である。文字は破片のため判読し難いものもあるが、明確に「小衆」(241・246)、「馬」(240・247)と読めるものがある。これらを参考にすると239と242も「馬」と判読が可能である。245は「小衆」とも似るが、ここでは不明としておく。248は「捻」と判読できる。これら「馬」字のヘラ書き土器は本調査地点が駅家の施設の一部であったことを暗示しているきわめて貴重な資料である。

253は鉄刀の切先である。やや厚めの刃部をもつことから、時期的に新しいものの可能性もある。254は鎌の破片である。切先が折れている。255は刀子である。背の部分において茎と段を作り出している。

## 2. まとめ

本調査区においては主な遺構として竪穴住居址9基・掘立柱建物址2基を検出することができた。遺跡の存続時期は出土遺物より8世紀末～9世紀前半代に相当するであろう。住居址が北側に集中していることより、集落の中心はさらに北に位置するものと考えている。

分布上3群に分かれる竪穴住居址群は、大型の1・2号竪穴住居址とやや小型の3～9号という構成からなる。周辺地での調査成果をみると、これらは規模の違いにより、時期差の可能性があり、大型から小型へと変化したものと考えられる。よって、8世紀後半～9世紀前半期を2時期に分けたとして、8世紀代に1・2号竪穴住居址を、9世紀前半代に3～9号竪穴住居址を当てることができる。掘立柱建物址がこれら竪穴住居址群のどちらに付属するかについては、少ない遺物で決めるのは問題ではあるが、1号掘立柱建物址も2号掘立柱建物址も8世紀後半代の土師器を伴っており、1・2号竪穴住居址に伴う可能性が大きい。しかし、これは建物の建設時期の上限を示すに過ぎないため、今後は周辺での調査状況を見守る必要がある。

本遺跡の性格を考えると、布目瓦、墨書・ヘラ書き土器、土馬などの存在は、一般的な農村集落の遺物保有の様相以上のものがあることには注意を払わねばならない。その中でも注目すべきものは、包含層から出土した「馬」銘を書いたヘラ書き土器である。これはほぼ8世紀後半代～9世紀中ごろの時期を示す遺物である。この黒髪町遺跡群一帯に駅家の存在が指摘されていることと、ヘラ書き土器が当初より使用場所を特定した生産品であったことを考え合わせると、おそらく駅に関する施設の一部がこの調査区に存在した可能性が高い。とくに「馬」という字を考えると、蚕養(こかい)駅の「駅」自体を指すというよりも、馬に関連する飼育舎やそれを管理する人の居住区を意味する言葉として理解されよう。それは、本調査区において検出された遺構群が駅家の中心的な施設を示すような企画性も規模も有していないことから裏付けられよう。掘立柱建物址の方位はこの付近を通る官

道の方位  $W - 6^{\circ} - N$ ではなく、むしろ東に傾いている。また、1号と2号の建物の方位も揃っていない。これもまた、周囲の状況に期待する部分が大である。

しかし、包含層出土遺物中には越州窯青磁も含まれ、9世紀後半代以降の遺物も含まれることから、量的には少なくなるが、本地点にはこれら品を入手できる勢力がこの段階になっても残存していたことを示しており、付近一帯が駅制の変化とともにどのような道を辿ったかについても今後の大きな課題である。